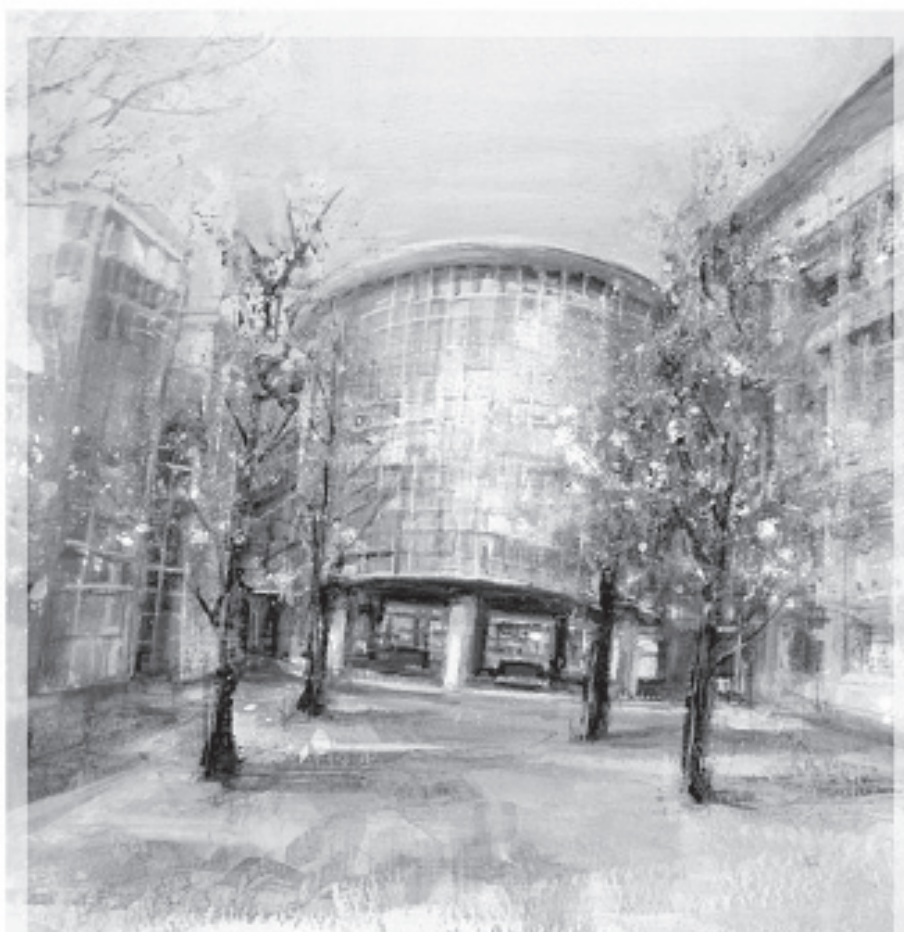


令和5年度 学習の手引き



鹿児島県 開陽高等学校 通信制課程

〒891-0198 鹿児島市西谷山一丁目2-1

TEL 099 (263) 3723 (通信制 直通)

099 (263) 3733 (代表)

FAX 099 (260) 8233

HP <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kaiyo/tsushin/>
ブログ <http://kaiyo-tsushin.edu.pref.kagoshima.jp/>

携帯QRコード



「夢・実現」に向けて

－開陽高校で学ぶために－

鹿児島県立開陽高等学校長

開陽高校の校訓は、『夢・実現』

生徒に 気宇壮大で 大志を抱き 大地に踏ん張って 颯爽と立つ人間として潔白で 純乎たる
生き方をして欲しい という願いを込めて この校訓を定める。

本校は、平成12年4月、単位制による定時制課程と通信制課程を設置する高校として、下伊敷に開校しました。その後、平成15年4月、全日制課程を加え、ここ谷山の新校舎でスタートを切りました。

校舎のコンセプトは「光と風と森のある学校」。木材を多用した温もりある講義教室や自習室を備えた円形図書館の他、障がいがある生徒さんに配慮したバリアフリー施設、エレベーターの設置など、校訓『夢・実現』がスタートできる、そして実現できるための環境となっています。この恵まれた学習環境を思う存分活用して、自分の持つ能力や適性、特技などを伸ばすことを期待しています。

通信制課程の学習は、レポート、面接指導（スクーリング）、試験の3つが柱になります。

普段は、自宅で教科書や学習書等をもとにレポートを作成します。そして、学習の理解を補完するためのスクーリングに決められた回数だけ出席することが必要です。スクーリングは、本校では日曜日と月曜日、県下14の地区協力校では日曜日に実施されます。自分に合ったペースで学習し、卒業資格を取得することができますが、レポートを提出しなかったり、期日に遅れたり、また、スクーリングを休んでしまうと試験を受けることができなくなってしまうます。

また、通信制課程には、細かな校則や制服はありませんが、行動の指針として

①人に迷惑をかけない ②自主的に行動する ③思いやりの心をもつ

の3つを掲げています。「学校は小さな社会」ですから、社会で許されないことは学校でも許されません。

開陽高校生には、自分の夢や目標に向かって「常に前向きに前進していく自由」があります。ただし、自由には「責任」と「義務」が伴うことを忘れないでください。開陽高校生には、一つ一つの振る舞いに責任ある行動を取ることが求められます。

『夢・実現』の秘訣は、前向きな挑戦です。

開陽高校で学ぶためには、自己を管理する能力が必要です。自己管理を続けるには、目標や目的意識を持つことが必須と言われています。目標や目的意識を見付けるためにも、自分には無理かなと思うことにも、果敢に挑戦してください。最初はできなくても、何度か挑戦するうちに、必ずできるようになるはずですよ。

そして、「友だち」を作ってください。そばにいて心強いのが「友だち」の存在です。本校には、学年や学級という概念がありません。特に、通信制では、生徒同士のつながりが希薄になるおそれがあります。しかし、他の課程と同じように、学校行事や生徒会活動、部活動があります。それらに積極的に参加をすることで、互いの距離が近づき、元気をもらえます。

本書は、皆さんが学校生活を送るために必要かつ十分な内容が簡潔に盛り込まれています。必要に応じて手に取り、皆さんの『夢・実現』の一助となるよう活用してください。

夢・実現

校訓と教育目標

1 校 訓

『夢・実現』

生徒に、気宇壮大で大志を抱き大地に踏ん張って颯爽と立つ人間として潔白で純乎たる生き方を
してほしいという願いを込めて、校訓を『夢・実現』と定める。

2 教育目標

日本国憲法及び教育基本法に基づき、「生きる力」である確かな学力、豊かな人間性、たく
ましく生きるための健康と体力をはぐくみ、国家及び地域社会の進展に貢献できる人材を育成する。

- (1) 校訓「夢・実現」の具現化を図るためキャリア教育の推進に努め、社会に貢献できる人材を育
成し、開陽高校の伝統を創っていくための自覚と誇りを持たせる。
- (2) 学校・家庭・地域社会が連携しての教育活動を展開することにより、社会人として生きるた
めの基本的生活習慣を身につけさせる。
- (3) 生徒一人一人の能力や個性・適性に応じた「心に届く教育」を実践し、個々の進路目標の実現
を図る。
- (4) 人間としてのあり方や生き方に関する教育を重視し、様々な個性を持つ集団相互の出会いを通
して、豊かな人間性と社会性の醸成を図る。

校 章

校章の由来

太陽と広がる宇宙を図案化し、多様な世界へ羽ばたく
開陽高等学校と生徒の可能性を示しています。

また、3本のリングは本校の3課程及び過去・現在・
未来の時の流れに生徒の飛躍・発展性を示しています。

原案作成者：本 田 誠 氏



校 名

校名の由来

校名を決めるに当たっては、中学生以上の県民の方から校名を公募しました。

その結果、1,600件以上の応募の中から本校に最もふさわしい名称として「開陽」という名称
が選ばれました。

「開陽」という名称は、本県の温かい県民性と太陽の輝く明るい風土を象徴するとともに、新し
い時代を開く若者を育成する本校の教育目標や地域に開かれた明るい校風を表しています。

命名者：三 原 博 文 氏

校 歌

鹿児島県立開陽高等学校校歌

「輝 き」

作詞 杉村 幸雄

作曲 長瀬 義人



みんなみのそらたかくかがやくたいようオオ——



じだいのさきがけわれらえいちをみがき—みらいをひらく—みちは



それぞれちがうけどめざすはひとつ—めざすはひとつ—ゆめ



のゆめのじつ—げ—んめざすはひとつ—めざすはひとつ—ゆめ



のゆめのじつ—げ—んひたすら—に

輝き

南の空高く輝く太陽

時代のさきがけわれら

英知をみがき未来を開く

道はそれぞれ違うけど

目指すは一つ夢の実現

ひたすらに

＜目 次＞

§ 1	高等学校通信教育のあらまし	1
	(高等学校の3課程, 高等学校で学習する事柄, 通信制課程における学習, 単位制, 入学から卒業までの流れ)	
§ 2	本校の教育課程等	3
	(学科, 修業年限, 教育課程, 特別活動, 単位認定, 卒業, 教育課程表, 高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)の本校対応科目一覧表, 技能審査の対応科目一覧表)	
§ 3	受講登録	9
	(受講登録, 受講登録の注意, 受講登録の手続き・日程, 受講料の納入, 教科書・学習書等の申し込みと購入方法, 諸会費の納入方法, 各教科の説明)	
§ 4	令和4年度 行事計画	17
§ 5	教科・科目の学習	21
1	令和4年度 学習年間スケジュール表	21
2	レポート	25
3	面接指導(スクーリング)	28
	NHK高校講座番組時刻表	30
4	試験	31
§ 6	特別活動	33
	(卒業の要件, ホームルーム, 生徒会活動, 学校行事, 特別活動における特活時数及び面接時数の算定基準)	
§ 7	学校と生徒との関係	35
	(受講登録をしない場合の措置, 身分上の手続き, 一般的手続き, 賞罰, 諸届・願, 学籍・HR番号等)	
§ 8	学校との連絡	37
	(生徒から学校への連絡, 学校から生徒への連絡)	
§ 9	通信制課程で学ぶ生徒への教育費助成等	40
	(教科書・学習書, 奨学資金の貸与・給与, 勤労学生の所得額控除, 郵便料の軽減, 旅客運賃の割引)	
§ 10	生活の心得	42
	(学校生活, 服装, 所持品, 授業及び学校行事, 喫煙, 通学・交通マナー等)	
§ 11	生徒会	43
	(生徒会機構, 生徒会会則)	
§ 12	HPの活用と緊急情報・自然災害(台風・大雪・洪水)等の連絡方法	46
	スクーリング参加・学習活動等の記録	49
	(スクーリング・学校行事等への参加の記録, 時間割計画表)	
	事務関係の手続き(各種届・願・証明書等の交付)	
	交通アクセス	
	(利用交通機関, 学校近辺地図)	
	駐車場	
	校舎配置図	

§ 1 高等学校通信教育のあらまし

1 高等学校の3課程

高等学校には、次の三つの課程があります。みなさんは、(3)の「通信制課程」で学ぶことになります。

- (1) 全日制課程 祝祭日や長期休業を除いて週5～6日登校し、1日中（午前・午後とも）授業を受けて学習する課程
- (2) 定時制課程 祝祭日や長期休暇を除いて週5～6日登校し、昼間部・昼夜間部・夜間部など限られた時間で授業を受けて学習する課程
- (3) 通信制課程 月2～3回程度のスクーリング（面接指導）に出席することが必要。自宅における自学自習によりレポートを提出し、添削指導を受けるなど通信教育によって学習する課程

2 高等学校で学習する事柄（教育課程）

学校の教育計画の全体を、「教育課程」といい、次の(1)・(2)を履修します。

(1) 教科・科目

「教科」は、「国語」「数学」「芸術」などを指し、

「科目」は、「現代の国語・前」「数学A」「音楽Ⅰ①」などを指します。

(2) 特別活動

「ホームルーム活動」「生徒会活動」「学校行事」の総称です。

3 通信制課程における学習

通信制課程における学習は、**レポート・面接指導（スクーリング）・試験**の三つが柱であり、それに**特別活動**が加わります。

(1) レポート

通信教育で中心となる学習活動です。

自宅で、教科書・学習書をもとに各科目のレポートを学習し、学校に郵送すると、添削指導されて返送されてきます。それをもとに復習し、わからないところはスクーリングのときなどに質問します。

(2) 面接指導（スクーリング）

スクーリング計画にしたがって登校して、実際に授業を受けたり、生徒会活動に参加したりします。

自宅学習でわからなかった点を科目担任の先生に質問したり、クラス担任や友達と交流を深めたりして、積極的に活動することが大切です。

(3) 試験

自分が受講している科目の試験を受けて、学習が定着しているか評価を受けます。各科目において、所定の点数が取れなかったら追試験を受けなければなりません。

(4) 特別活動

ホームルーム活動・生徒会活動は、スクーリング日に本校又は協力校に登校した際に出席・参加しま

す。学校行事（入学式・芸術鑑賞会・ふれあいレクリエーション・弁論大会・文化祭など）には、積極的に参加しましょう。

4 単位制とは

本校は、「単位制」の高等学校です。「単位制」の学校が他の「学年制」の学校と異なるのは、主に次のような点です。

ア 学年はないが、修得単位数により

0～15単位 Aグループ 16～44単位 Bグループ 45単位以上 Cグループ
としている。

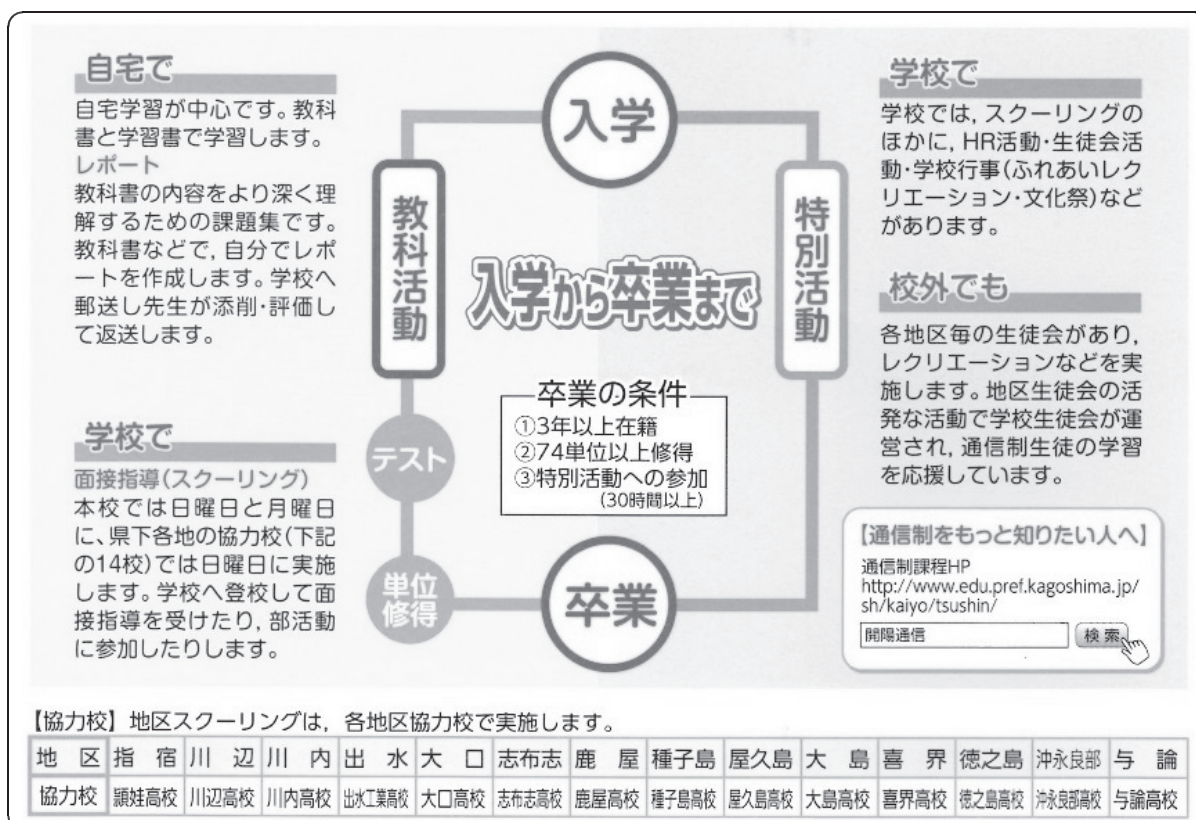
イ 学習計画（受講登録）は自主的に作成できる。

ウ 必要な単位を修得すれば、卒業の資格が得られる。

エ 大検・高認合格科目、技能審査、定通併修で修得した単位等を卒業単位に加えることができる。

オ 前籍校で修得した単位はそのまま認定されるが、一部認定されないものもある。

5 入学から卒業までの学習の流れ



§ 2 本校の教育課程等

1 学 科

普 通 科

衛生看護科（看護学校と技能連携）

※衛生看護科の生徒は、本校と技能連携校に在籍する必要があります。

普通科目は本校で、専門科目は看護学校で学びます。

2 修業年限

3 年以上

3 教育課程

本校の教育課程は、P 5～6 に示してあります。

各教科には、「必履修科目」と「選択科目」があります。卒業するためには、「必履修科目」をすべて履修したうえで、合計 74 単位以上修得しなければなりません。

本校は 2 期制をとっています。前期は 4 月 1 日から 9 月 30 日まで、後期は 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとなっています。すべての科目は前期、後期ごとに履修・修得できる仕組みとなっています。それにより、前期での卒業が可能となっています。

4 特別活動（詳細は § 6 参照）

ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事があります。

特別活動は、卒業までに 30 時間以上出席することが卒業の要件です。

5 単位認定

「単位」とは、学習の分量を示すもので、通信制においてはそれぞれの科目に 1 期ごとのレポート提出回数及びスクーリング出席時数が設定してあり、それらを充足し、試験に合格することで単位が認められます。

(1) 教科・科目の単位認定

ア レポートがすべて合格と認められていること。

イ 所定の面接時数を満たしていること。

ウ ア・イを満たし、試験を受けて、合格と認められていること。

(2) 併修科目の単位認定（P 9 参照）

併修によって履修・修得できる単位数は 1 年間に **3 科目以内、10 単位以内**とします。

(3) 高等学校卒業程度認定試験等の単位認定

「高卒認定試験」及び「大学入学資格検定試験」の合格科目は、合格年度を問わず、P 7 の対応表に

従って、対応する科目の単位として卒業時に一括して認定します。また、既修得の科目は科目合格しても単位認定はできません。単位の認定を希望する生徒は、「合格成績証明書」を添えて、前期は8月末日必着、後期は1月末日必着で申し出てください。なお、合格科目は受講登録の際、参考にしますので、卒業年度に関わらず担任に連絡してください。

(4) 技能審査の成果の単位認定

本校入学後にP 8に記した技能審査に合格した場合は、対応科目の増加単位として認定します。単位の認定を希望する場合は、「合格証明書」を添えて、前期は8月末日必着、後期は1月末日必着で申し出てください。ただし、増加単位として認定する科目を修得している必要があります。

(5) 海外留学に係わる単位認定（詳細は本校に直接問い合わせてください。）

留学によって認められる単位は36単位を上限とします。全て選択科目の修得単位として取り扱いま

す。

(6) 認定単位の上限

① **1年間** に認定できる単位数の上限は併修を含め29単位までです。ただし、「技能審査」等による増加単位を加えた場合には、33単位まで認定することができます。

② **卒業時** に限り、1年間に認定できる単位数の上限は本課程の分に、「併修」・「高認(大検)」・「技能審査」等による認定単位の分も合わせて36単位までです。

6 卒 業

本校通信制課程の**卒業条件**は、次のとおりです。

ア 3年以上在籍すること。（転編入生については、前籍校での履修・修得の期間を含む。）

イ 必履修科目が、すべて履修認定されていること。

ウ 修得単位数が、通算74単位以上であること。

エ 特別活動に、30時間以上出席していること。

オ 転編入生については、本課程で最低3科目以上履修すること。

《用語の説明》

必履修科目 : 高等学校で必ず履修しなければならないと定められている科目

選択科目 : 生徒個人の希望により選択して履修する科目

履修 : 科目の目標に到達することを目的として、レポートを提出し、面接指導（スクーリング）に参加し、学習したこと。なお、卒業単位74単位には含まれない。

修得 : 科目を履修することにより、教科・科目の目標に照らして満足すべき成果を上げたと認められ、単位を認定されること。（レポートを提出し、面接指導（スクーリング）に出席し、試験に合格すること）

併修 : 本校の全日制課程・定時制課程の開設科目を履修すること。

令和5年度 開設科目

【普通科】

	教科	前 期		後 期		教科受講上の留意点 ※①②のある科目は①②で1科目（全ての科目に共通）
		科 目	単位数	科 目	単位数	
普通教育に関する各教科・科目	国語	現代の国語・前	2			*「現代の国語」及び「言語文化」必履修 *「現代の国語」「言語文化」履修後はどの科目も受講可
				言語文化・後	2	
		論理国語①	2	論理国語②	2	
		文学国語①	2	文学国語②	2	
		国語表現①	2	国語表現②	2	
	歴史	地理総合・前	2	地理総合・後	2	*「地理総合」及び「歴史総合」必履修 *「地理総合」履修後に「地理探究」を受講可 *「歴史総合」履修後に「日本史探究」「世界史探究」を受講可
		歴史総合・前	2	歴史総合・後	2	
		地理探究①	2	地理探究②	2	
		日本史探究①	2	日本史探究②	2	
		世界史探究①	2	世界史探究②	2	
	公民	公共・前	2	公共・後	2	*「公共」必履修 *「公共」履修後に「倫理」「政治経済」を受講可
		倫理	2	政治・経済	2	
	数学	数学Ⅰ①	2	数学Ⅰ②	2	*「数学Ⅰ①②」必履修 *「数学Ⅱ」は「数学Ⅰ」を履修後、受講可 *「数学入門」は新入生のみ選択可
		数学Ⅰ②前	2	数学Ⅰ①後	2	
		数学Ⅱ①	2	数学Ⅱ②	2	
				数学A	2	
	理科	数学入門①	2	数学入門②	2	
		科学と人間生活①	1	科学と人間生活②	1	*「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち3科目選択必履修
		物理基礎①	1	物理基礎②	1	
		物理基礎②前	1			*「物理」「化学」「生物」「地学」はそれぞれ「〇〇基礎」を履修した後受講可
		化学基礎①	1	化学基礎②	1	
		化学基礎②前	1			
		生物基礎①	1	生物基礎②	1	*「科学と人間生活」は年度内の卒業が可能な生徒で、理科の必修科目「〇〇基礎」が1科目以下の者のみ受講可
		生物基礎②前	1			
		地学基礎・前	2	地学基礎・後	2	
		物理①	2	物理②	2	
		化学①	2	化学②	2	
		生物①	2	生物②	2	
		地学①	2	地学②	2	
	保健体育	体育A前	2	体育A後	2	*「体育ABCDE」のうち7単位と「保健①②」必履修
		体育B前	2	体育B後	2	
		体育C前	2	体育C後	2	
		体育D前	1	体育D後	1	
		体育E前	1	体育E後	1	
		保健①	1	保健②	1	
		保健②前	1	保健①後	1	
	芸術	音楽Ⅰ①	1	音楽Ⅰ②	1	*「音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ」（各①②）の中から1科目選択必履修
		音楽Ⅰ②前	1	音楽Ⅰ①後	1	
		音楽Ⅱ①	1	音楽Ⅱ②	1	*「音楽Ⅱ・美術Ⅱ・書道Ⅱ」は「音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ」を履修後、受講可
		音楽Ⅲ①	1	音楽Ⅲ②	1	
		美術Ⅰ①	1	美術Ⅰ②	1	*「音楽Ⅲ・美術Ⅲ・書道Ⅲ」は「音楽Ⅱ・美術Ⅱ・書道Ⅱ」を履修後、受講可
		美術Ⅰ②前	1	美術Ⅰ①後	1	
		美術Ⅱ①	1	美術Ⅱ②	1	
		美術Ⅲ①	1	美術Ⅲ②	1	
		書道Ⅰ①	1	書道Ⅰ②	1	
		書道Ⅰ②前	1	書道Ⅰ①後	1	
		書道Ⅱ①	1	書道Ⅱ②	1	
		書道Ⅲ①	1	書道Ⅲ②	1	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ①	2	英語コミュニケーションⅠ②	2	*「英語コミュニケーションⅠ①②」必履修 *「英語入門」は新入生のみ選択可
		英語コミュニケーションⅠ②前	2	英語コミュニケーションⅠ①後	2	
		英語コミュニケーションⅡ①	2	英語コミュニケーションⅡ②	2	
		コミュニケーション英語Ⅲ①	2	コミュニケーション英語Ⅲ②	2	
		英語入門①	1	英語入門②	1	
	家庭	家庭総合①	2	家庭総合②	2	*「家庭総合①②」必履修
		家庭総合②前	2			
	情報	情報Ⅰ・前	2	情報Ⅰ・後	2	*「情報Ⅰ」必履修
科学的探究の時間	家庭	消費生活・安全	1	消費生活・契約	1	*これらの科目は「家庭総合」を履修後、受講可 ただし、消費生活は今年度受講できない
		保育基礎	2	フードデザイン	2	
	商業	ビジネス基礎・前	2	ビジネス基礎・後	2	
		経済活動と法①	2	経済活動と法②	2	
	総合的な探究の時間	総合A・前	1	総合A・後	1	*総合3単位必履修 *1年間に2単位まで受講可
		総合B・前	1	総合B・後	1	
		総合C・前	1	総合C・後	1	

【衛生看護科】

	教科	前 期		後 期		教科受講上の留意点
		科 目	単位数	科 目	単位数	※①②のある科目は①②で1科目（全ての科目に共通）
普通教育 に関する 各教科・ 科目	国語	現代の国語・前	2			*「現代の国語」及び「言語文化」必履修
				言語文化・後	2	
	地理歴史	地理総合・前	2	地理総合・後	2	*「地理総合」及び「歴史総合」必履修
		歴史総合・前	2	歴史総合・後	2	
	公民	公 共 ・ 前	2	公 共 ・ 後	2	*「公共」必履修
	数 学	数 学 I ①	2	数 学 I ②	2	*「数学Ⅰ①②」必履修
		数 学 I ② 前	2	数 学 I ① 後	2	*「数学Ⅱ」は「数学Ⅰ」を履修後、受講可
		数 学 II ①	2	数 学 II ②	2	
				数 学 A	2	
	理 科	科学と人間生活①	1	科学と人間生活②	1	*「科学と人間生活」と「〇〇基礎」の科目の中から1科目 または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の うち3科目選択必履修
		物 理 基 礎 ①	1	物 理 基 礎 ②	1	
		物 理 基 礎 ② 前	1			
		化 学 基 礎 ①	1	化 学 基 礎 ②	1	
		化 学 基 礎 ② 前	1			
		生 物 基 礎 ①	1	生 物 基 礎 ②	1	
		生 物 基 礎 ② 前	1			
		地学基礎・前	2	地学基礎・後	2	
	保 体	体 育 A 前	2	体 育 A 後	2	*「体育ABCDE」のうち7単位と「保健①②」必履修
		体 育 B 前	2	体 育 B 後	2	
		体 育 C 前	2	体 育 C 後	2	
		体 育 D 前	1	体 育 D 後	1	
		体 育 E 前	1	体 育 E 後	1	
		保 健 ①	1	保 健 ②	1	
		保 健 ② 前	1	保 健 ① 後	1	
	芸 術	音 楽 I ①	1	音 楽 I ②	1	*「音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ」（各①②）の中から1科目選択 必履修
		音 楽 I ② 前	1	音 楽 I ① 後	1	
美 術 I ①		1	美 術 I ②	1		
美 術 I ② 前		1	美 術 I ① 後	1		
書 道 I ①		1	書 道 I ②	1		
書 道 I ② 前		1	書 道 I ① 後	1		
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ①	2	英語コミュニケーションⅠ②	2	*「英語コミュニケーションⅠ①②」必履修	
	英語コミュニケーションⅠ②前	2	英語コミュニケーションⅢ②	2		
	英語コミュニケーションⅡ①	2	英語コミュニケーションⅡ②	2		
	コミュニケーション英語Ⅲ①	2	コミュニケーション英語Ⅲ②	2		
家庭情報			家 庭 基 礎	2	*「家庭基礎」必履修	
	情 報 I ・ 前	2	情 報 I ・ 後	2	*「情報Ⅰ」必履修	
教お主 科いと ・てし 科開て 目設専 さ門 れ学 る科 に	看 護	基 礎 看 護			5	*看護の科目はすべて必履修で、技能連携校で履修・修得する
		人 体 の 構 造 と 機 能			3	
		疾病の成り立ちと回復の促進			2	
		健康支援と社会保障制度			2	
		成 人 看 護			2	
		老 年 看 護			2	
		小 児 看 護			1	
		母 性 看 護			1	
		精 神 看 護			2	
		看 護 臨 地 実 習			17	
総合的な 探究の時間	総 合 A ・ 前	1	総 合 A ・ 後	1	*総合3単位，必履修。1年間に2単位まで受講可	
	総 合 B ・ 前	1	総 合 B ・ 後	1		
	総 合 C ・ 前	1	総 合 C ・ 後	1		

* 高等学校卒業程度認定試験（高卒認定試験）の本校対応科目一覧表

高卒認定試験合格科目による本校の対応科目の単位認定は卒業時に次の要領で行います。

- (1) 合格科目を本校の教育課程の対応する科目を修得したものとして単位認定します。
- (2) 卒業時に加算できる単位数は、併修・技能審査等と併せて36単位までです。
- (3) 本校または前籍校で修得している科目は、高卒認定試験に合格しても単位認定しません。
- (4) 本校で部分単位を修得している場合は、残りの単位分のみ認定します。
- (5) 理科については平成26年度から試験科目が変更されました。それに伴い理科の認定については次の要領で行います

- ① 本校または前籍校で「物理Ⅰ」を修得している人が、高卒認定試験「物理基礎」に合格しても単位認定はしません。化学基礎・化学Ⅰ，生物基礎・生物Ⅰ，地学基礎・地学Ⅰについても同じです。
 - ② 本校または前籍校で「物理基礎」を修得している人が、平成25年度までの高卒認定試験「物理Ⅰ」に合格していても単位認定はしません。化学基礎・化学Ⅰ，生物基礎・生物Ⅰ，地学基礎・地学Ⅰについても同じです。
- ※ 不明な点は直接担任または教務係に問い合わせてください。

合格科目	本校の科目	単位数
国 語	国 語 総 合	4
世界史A	世 界 史 A	2
世界史B	世 界 史 B	4
日本史A	日 本 史 A	2
日本史B	日 本 史 B	4
地 理 A	地 理 A	2
地 理 B	地 理 B	4
現代社会	現代社会	2
倫 理	倫 理	2
政治・経済	政治・経済	2

合格科目	本校の科目	単位数
数 学	数 学 Ⅰ	3
科学と人間生活	科学と人間生活	2
物理基礎	物 理 基 礎	2
化学基礎	化 学 基 礎	2
生物基礎	生 物 基 礎	2
地学基礎	地 学 基 礎	2
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ	3

※ 令和5年度までは旧教育課程での認定になります。

※ 以前の「高卒認定試験」「大学入学資格検定試験」で合格した科目は本校（教務係）に直接問い合わせてください。

※ 平成16年度までの「大学入学資格検定試験」の合格科目を「高卒認定試験」の科目として免除することができます。詳しくは下記の認定試験第二係に問い合わせてください。

高卒認定試験を受験するには、まず受験案内を入手する必要があります。受験案内の配布時期と入手方法は次の通りです。

●「受験案内」の配布時期

第1回試験・・・毎年4月上旬頃から 第2回試験・・・毎年7月中旬頃から

●「受験案内」の入手方法

①パソコン及び携帯電話・スマートフォン等（Web）で請求する場合

→ 資料請求受付専用サイト <http://shingaku.telemail.jp/kounin>,
電話で請求する場合

→ IP電話 050-8601-0101

※上記のインターネット・電話を利用すれば配布前から予約が可能です。不明な点はテレメール
カスタマーセンター（IP電話050-8601-0102）まで 受付9時30分～18時



②直接受け取りに行く場合

→ 鹿児島県庁16階高校教育課で配布（事前に電話等で配布可能日・時間を確認）

③郵送で請求する場合

→ 返信先の住所氏名を明記した角形2号の封筒（250円分の返信用切手を貼付）を同封の上、
下記まで請求してください。

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
県教育庁 高校教育課 高校教育係 高等学校卒業程度認定試験担当
電話 099-286-5291（直通）

●問い合わせ先（文部科学省ホームページをご覧ください。以下に直接問い合わせてください。）

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課 認定試験第二係

電話 03-5253-4111（代表）

①認定試験に関すること（内線）2024・2643

②証明書に関すること（内線）2590・2591

* 技能審査の対応科目一覧表

技能審査合格による本校の対応科目の単位認定は次の要領で行います。

- (1) 合格科目を本校の教育課程の対応する科目を修得したものとして合格した年度に単位認定します。
ただし、本校入学後に合格したものに限ります。
- (2) 増加単位として設定する科目をすでに修得している必要があり、認定できる単位数の合計は10単位までです。

技能審査の種類	主催団体	水準	対応科目	単位
日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	2 級	国 語 総 合 現代の国語	2
実用英語技能検定	日本英語検定協会	準 1 級	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	3
実用英語技能検定	日本英語検定協会	2 級	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	3
実用英語技能検定	日本英語検定協会	準 2 級	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	2
硬筆書写技能検定	日本書写技能検定協会	2 級	書 道 I 書 道 II	2
毛筆書写技能検定	日本書写技能検定協会	2 級	書 道 I 書 道 II	2
家庭料理技能検定	香川栄養学園	2 級	フードデザイン	2



§ 3 受 講 登 録

1 受講登録とは

諸会費等を納め、自分が受講する科目を申し込み、許可を受けることを「受講登録」と言います。各教科・科目は、期間内に受講登録をしないと受講できません。

2 受講登録の注意

(1) 教科・科目

- ア 単年度当たり **3科目以上の受講登録**をしなければなりません。
- イ 一年間に受講登録できる**単位数の上限は、併修も含め29単位**です。
- ウ 受講順序のある科目は、それに従います（P 5～6 教育課程表「教科受講上の留意点」参照）。
- エ 年度当初に申し込んだ科目の、年度途中での変更や追加申し込みは認めません。
- オ 各科目は、1期で学習を終えることが原則です。1期で履修・修得ができなかった科目は、翌年度再受講できます。（レポート・スクーリングは初めからやり直しです。）

(2) 「併修」

全日制・定時制課程との併修を希望する場合は、2月末日までに申し込まなければなりません。ただし、科目によって、他課程で定員が充足している場合は、併修できないこともあります。

（併修の申請をするための条件）

- ア 本課程に1年以上在籍している。
- イ 前年度に4単位以上を修得している。

（併修できない科目）

- ア 本校の通信制課程で開講している科目
- イ 大検及び高認で合格した科目、又は本年度に受験を予定している科目

（併修できる科目数の上限）

併修によって履修・修得できる単位数は1年間に3科目以内、10単位以内とする。

3 受講登録の手続き・日程

受講登録の手続きや日程は、「開陽通信」等で1～2月に連絡します。

4 受講料の納入

平成26年4月1日から、通信制課程の教育を受ける生徒については、受講登録の単位数に応じて**1単位につき310円**の受講料を徴収することになりました。

ただし、下記に該当する生徒は、納入の必要はありません。

- ア 平成26年3月31日に、現に**本校通信制課程に在籍**する生徒。
- イ 平成26年3月31日に、現に**県立高校に在籍**し、本校通信制課程に転入学した生徒。
- ウ 上記、ア・イに該当しない生徒で、**就学支援金申請書及び所得課税額証明書またはマイナンバーカード(写)等**を提出し、認定された生徒。 ※ **就学支援金の申請**

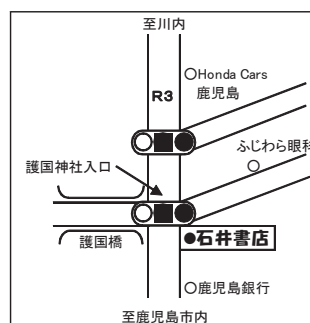
就学支援金の申請をし、認定された生徒は、毎年7月に更新事務があります。なお、結婚や諸事情により、生計維持者が変更となる場合は、別途手続きが必要となる場合があります。

5 教科書・学習書等の申し込みと購入方法

- (1) 教科書・学習書はセットになっています。受講登録日に「受講申込書」の「教科書・学習書等申込欄」に○印をして申し込みます。
- (2) **教科書・学習書等の代金は、石井書店へ郵便払込・振替により送金してください。**
事務係で郵便払込・振替の用紙（払込取扱票）に代金額を記入して渡しますので、住所・氏名等を記入して速やかに送金してください。
現金での払込の手数料は、5万円未満は、窓口利用の場合313円・ATM利用の場合262円です。
教科書・学習書等は書店から、入金確認後、宅配便にてみなさんの住所へ発送されます。
- (3) 教科書・学習書等は、有職の生徒に無償で給与する制度があります。 → P 40 参照
無償給与を希望する場合は、前もって送付される申請書類を受け取り、受講申し込みをするときに無償給与の申請をしてください。

払込取扱票															払込金受領証																	
00		口座番号													金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
01730		5													96505																	
加入者名		(有)石井書店													料		金		特		殊		取		扱							
※																																
通		学 籍 番 号 ()																														
信		ホームルーム名 (-)																														
欄																																
おと		ところ (郵便番号)													受		付		局		日		附		印							
※																																
ご		依頼人 おなまえ													料		金		特		殊		取		扱							
依頼人		(電話番号 - -)													円																	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)																																
これより下部には何も記入しないでください。																																

書店
(有)石井書店
鹿児島市草牟田2-10-9
TEL099-222-1028



6 諸会費の納入方法 (入学後2年目以降の生徒)

生徒は、生徒会費等の諸会費を納入しなければなりません。

諸会費は、受講登録前までに郵便振替で送金します。送金した際の受領書は、保管しておいて、受講登録日に持ってきてください。

払込取扱票															振替払込請求書兼受領証																			
02		口座番号													通常払込料金加入者負担		金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
01740		9													96205																			
加入者名		開陽高校諸会費													料		金		備		考													
※																																		
通		学 籍 番 号 ()																																
信		ホームルーム名 (-)																																
欄																																		
おと		ところ (郵便番号)													日		附		印															
※																																		
ご		依頼人 おなまえ													料		金		備		考													
依頼人		(電話番号 - -)													円																			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)																																		
これより下部には何も記入しないでください。																																		

(諸会費)

(前期入学生・在校生)

生徒会費 3,100円 通信教育振興会費 3,000円 ※諸費 2,400円 合計 8,500円
在校生は ※諸費 1,560円 合計 7,660円

(後期入学生)

生徒会費 1,550円 通信教育振興会費 1,500円 ※諸費 2,400円 合計 5,450円
※諸費の中には、バーコードシール代、レポート・教科書・学習書の送料等が含まれます。

7 各教科の説明 …… 面接時数はP 2 1～2 4で確認すること。

国 語

…… 「現代の国語」及び「言語文化」必履修
「論理国語」「文学国語」「国語表現」は「現代の国語」及び「言語文化」を履修後に受講できる。

現代の国語

論理的な文章や実用的な文章を教材にして、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けていきます。必履修科目です。

言語文化

小説、詩歌、古文、漢文等を教材にして、我が国の言語文化に対する理解を深めていきます。必履修科目です。

論理国語

評論などの文章を読み、著者の主張やその根拠・文章構成の意図を的確に読み取る力を高める学習をします。また、読解した内容を自身の立場に当てはめて考え、自らの言葉で述べる活動も含めます。教材となる文章が、主に大学入学共通テストで扱われるような、学術的・専門的な評論を中心に構成されているため、他の国語科の科目に比べて難易度の高い内容になっています。必履修科目を履修後、受講できます。

文学国語

近代以降の文学的な文章を教材にして、「思考力・判断力・表現力」等の感性・情緒の力を磨く科目です。レポートは、深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする内容です。国語科の選択科目の中では比較的易しい科目ですが、毎回「感想文」の設問がありますので気をつけてください。必履修科目を履修後、受講できます。

国語表現

この科目では、文章による表現（感想文・小論文・意見文・手紙等）を中心に、書くこと・話すことによる表現の仕方やメディアの利用の仕方について学習します。必履修科目を履修後、受講できます。

地理歴史

…… 「地理総合」及び「歴史総合」必履修
「地理探究」は「地理総合」を履修後に受講できる。
「世界史探究」及び「日本史探究」は「歴史総合」を履修後に受講できる。

歴史総合

世界史と日本史を融合し、近現代分野を中心に学びます。日本やいろいろな国の歴史はもちろん、国々の関係や世界情勢を学ぶことによって、時代認識や国際感覚を磨き、グローバル化した社会で主体的に生き抜く力を養います。

地理総合

世界の理解に必要な地図の活用や気候、地形などの系統地理の分野から世界の諸地域の特徴や課題を学び、更に現代の世界の課題である環境問題や人口問題、わが国の大きな課題である防災に関する対策についても考えます。

世界史探究

世界の歴史を、原始から近現代まで全地域幅広く学習していきます。人類の文化が発展して文明が発生し、より大きな文化圏となり、近現代に近づくにつれ一体化していく過程を学ぶことで、世界的な課題となっている国際平和の実現について考える力を養います。

日本史探究

原始・古代から現代までの日本の通史です。日本の近・現代の基礎と、現代日本の形成過程を理解します。「歴史総合」に比べて、より詳しく学習します。

地理探究

世界や日本の地形・気候・農業・工業・都市・国際関係・環境問題・人権・民族問題・人口問題等を項目別・地域別・課題別に学んでいきます。「地理総合」に比べてより詳しく、地図・統計などを取り上げて学習します。

公 民

…… 「公共」 必履修

「倫理」 及び「政治・経済」は「公共」を履修後に受講できる。

公共

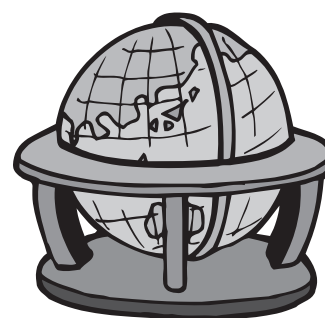
「公共」の学習は、21世紀の社会に生きる私達を取り巻く環境をグローバルな視点から考察します。また日本や世界の政治や経済のしくみを学ぶ中で、諸問題の解決について主体的に考える力を身に付ける機会になればと考えています。

倫 理

「倫理」は、人間としての在り方・生き方を考える科目です。世界の先哲の思想を学ぶことでさまざまな新たな発見をし、それを手がかりとして現代に生きる私たちがどう生きて行くべきかを考えます。深く考えることでいっそう面白くなる科目です。

政治・経済

「政治・経済」は、現代の政治、経済、国際関係を社会の変動や国際化の進展をふまえて学んでいく科目です。ただ単に政治制度や経済の仕組み、国際社会の仕組みを学ぶだけでなく、それを通じて刻々と変化する政治や経済の状況、国際関係を現実のものとして理解するようにします。



数 学

…… 「数学Ⅰ」 必履修

数 学 Ⅰ

数学の科目のうち数学Ⅰだけは全員が学ばなければならない必修科目です。内容は中学校で学んだ数学の基礎的な内容を踏まえて、数と式、方程式・不等式の解き方、2次関数、三角比、集合と論証、データの分析を学び、日常生活において数学的な見方や考え方ができるような能力を身につけることを目標にして学習します。

数 学 Ⅱ

数学Ⅰを履修（学習）した後に学ぶ科目です。数学Ⅰで学んだ内容をもとにいろいろな方程式、不等式、指数関数、対数関数、三角関数といろいろな関数の概念をもっと広く深く学習し、「微分と積分」では、微分を用いて関数のグラフを書いたり、積分を用いて図形の面積を求めたりすることを学びます。数学の得意な人、興味を持った人はこの科目を学ぶことによって数学的により広い視野で物事が考えられるようになると思います。

数 学 A

数学Aは数学Ⅰの内容を拡充し、それを補足する科目です。本校では「場合の数と確率」の基本的な意味と考え方を学び、さらに「三角形」・「円」・「空間図形」の基本的な性質を学びます。また、新しく「整数の性質」で約数や倍数など整数の基本的な内容を学習します。これらは数学全体の基礎で大切な内容です。また身近な問題を数学的にとらえることで数学の面白さがわかると思います。

数 学 入 門

小中学校の基礎的な内容を学ぶ科目です。整数・小数・分数の四則計算、正負の計算、文字式の計算、方程式などを解く力を身につけることを目標にして学習します。

理 科

… 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち
3科目選択必履修
「物理」は「物理基礎」を履修後に受講できる。
同様に「化学」「生物」「地学」もそれぞれの「基礎」の科目を
履修後受講できる。

物理基礎

- ・物体の運動とエネルギー
- ・様々な物理現象とエネルギー

化学基礎

- ・化学と人間生活
- ・物質の構成
- ・物質の変化

生物基礎

- ・生物の特徴
- ・遺伝子とそのはたらき
- ・生物の体内循環の維持
- ・生物の多様性と生態系

地学基礎

- ・宇宙における地球
- ・変動する地球
- ・地球の環境

物 理

- ・様々な運動
- ・熱
- ・波
- ・電気と磁気
- ・原子・分子の世界

化 学

- ・物質の状態
- ・化学反応とエネルギー
- ・化学反応の速さと平衡
- ・無機物質
- ・有機化合物
- ・高分子化合物

生 物

- ・生命現象と物質
- ・生殖と発生
- ・生物の環境応答
- ・生物の進化と系統
- ・生態と環境

地 学

- ・固体地球の概念と活動
- ・地球の歴史
- ・大気と海洋
- ・宇宙の構造

保健体育

… 「体育ABCDE」のなかから7単位と「保健」必履修

体 育

各種運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育みます。

- レポートでは、体育理論を中心に、各スポーツ種目の特性や歴史、ルール等を学習し、スポーツに対する理解を総合的に深めていきます。

〔体育A〕スポーツの発祥と発展

〔体育B〕運動・スポーツの学び方

〔体育C〕豊かなスポーツライフの設計

〔体育D・E〕スポーツ情報の活用・公共スポーツ施設と活用

- スクーリング（面接）では、生涯スポーツの一環として、年齢や個人の目的に応じて、健康増進、体力向上を図る機会を設けています。また互いに助け合って学習する態度を育てることを目指しています。

保 健

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育みます。

- レポートは、生活設計に健康が不可欠であることを教科書の内容に沿って学習します。

〔保健①〕

- ・現代社会と健康
- ・安全な社会生活

〔保健②〕

- ・生涯を通じる健康
- ・健康を支える環境づくり

- スクーリング（面接）では、レポートの進度にあわせて内容の解説等を行います。



芸 術

… 音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰの中から1科目選択必修

音 楽

音楽の学習は、本来、表現（歌唱・器楽・創作）と鑑賞の幅広い音楽活動を通して行います。スクーリングではレポートに沿った範囲で基礎的なことを学習します。実技は、可能な限り歌唱・器楽の演奏、創作（作曲）など何か一つは取り組めるものを決めましょう。手元に今まで使ったリコーダー、ハーモニカ、ギター、鍵盤楽器などあれば学習に役立ててください。

音 楽 Ⅰ

基礎的な「音楽のしくみ」を理解し、世界中の様々な音楽に触れたり、表現したりします。

音 楽 Ⅱ

「音楽のしくみ」を理解し、世界中の様々な音楽の魅力を味わいながら、自己表現の領域を広げ、自発的な学習をします。

音 楽 Ⅲ

音楽に対する技能や知識を生かしながら、個性的・創造的な学習を深めます。

美 術

美術の幅広い活動を通して、表現や鑑賞活動の能力を伸ばし、美術文化への理解を深めることを目標としています。主に平面作品、美術史、鑑賞などのレポート作成が中心となります。スクーリングや共同学習の時間に鉛筆と水彩絵具（又はポスターカラー）を持参しましょう。

美 術 Ⅰ

色彩の基本、切手のデザイン、ポスター制作、鹿児島県の美術工芸品などのレポートを中心に、色や構図の基礎を学びます。

美 術 Ⅱ

風景画、写真、鑑賞、統一感のあるデザインなどのレポートを作成します。個々の表現力や作品完成への工夫を追求します。

美 術 Ⅲ

ドローイング、美術史、文化財、自由課題などのレポート作成を通して個々の創造性や表現の可能性を高めます。

書 道

書道の学習は、豊かな感性の人づくりを目指し、書の表現（臨書・創作）と鑑賞の幅広い書活動を通して行います。スクーリングでは、運筆法や作品の創り方などレポートに沿った範囲で基礎的なことを学びます。書道具を持参しましょう。共同学習では、教科書の内容に沿って学習したことを学習報告書にまとめ、レポートを作成します。

書 道 Ⅰ

書の伝統に基づき、漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けます。

書 道 Ⅱ

書の歴史に触れながら、古典の臨書と創作・鑑賞の幅広い書活動から創意工夫する制作の喜びを体験します。

書 道 Ⅲ

生活の中に書を生かす技能や創造的な書表現の学習を深め、書を愛好する心情を育みます。



英 語

…… 「英語コミュニケーションⅠ」 必履修

英語コミュニケーションⅠ

英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりすることを通して、英語に関する知識や技能を身につけるとともに、社会の様々な出来事について論理的に考えたり、意見を述べたりする力を養います。また英語を用いて主体的に他者とコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育成することを目標としています。

英語コミュニケーションⅡ

英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を培うことを目標としています。選択科目ですが、大学等への進学を希望している生徒はできるだけ受講してください。

コミュニケーション英語Ⅲ

英語を通じて、異なる言語や文化および生活様式に対する関心・理解を深め、積極的なコミュニケーションを図るための情報や考えなどを的確に理解する能力を培い、社会生活において活用できるようにすることが目標。やや難しい英文も取り扱うので、英語好きの生徒および大学進学希望の生徒は、是非チャレンジしてください。

英語入門

英語の苦手な方を対象とし、アルファベットの練習や中学1年生段階の基礎を学ぶことを目標としています。この科目を受講する生徒は必履修科目のコミュニケーション英語Ⅰを次年度以降に学習します。

家 庭

…… 「家庭総合」 必履修
「フードデザイン」「消費生活・安全」「消費生活・契約」
「保育基礎」は「家庭総合」を履修後に受講できる。

家庭総合

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識や技能を体験的・総合的に学びます。

実習は①で「基礎縫い」、②前・②で「調理」があります。

フードデザイン

食生活の充実・向上をめざして、食生活の変化と現状の問題点、これからの食生活や食べることの意義と役割、健康と栄養・食物とのかかわり、調理の基本について学びます。

自宅での調理実習課題が2回あります。

消費生活・安全

消費生活・契約

流通や販売方法が複雑化・多様化している中での財・サービスの選択について適切な意思決定ができるようにするとともに、消費者の権利と責任など消費生活に関する知識と技術を学びながら、環境保全に配慮した消費生活について学びます。

保育基礎

保育は子どもの育ちを支える人間としての基本的な営みであり、人はかかわりの中で育つ存在。

どのようにしたら生き生きと成長していくことができるのか、子どもの育ちについて学んでいきます。また、保育の学習を通して新たな「自分」を発見することもねらいとしています。

情報Ⅰ

情報社会と人との関わりについて理解を深めることや、事象を情報とその結びつきとして捉えて情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために、情報社会に主体的に参画するための資質・能力の育成を目指して学習します。

商 業

ビジネス基礎

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得し、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けるよう学習します。

主な内容として、経済生活とビジネスに関する知識、企業活動の基礎、売買に関する取引手順やビジネス計算等があります。

経済活動と法

ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を習得し、経済活動でおこる諸問題を法律的に考えて判断する能力と態度を身に付けるよう学習します。

主な内容として、権利・義務と財産権、契約、企業活動や社会生活に関する法等があります。

総合的な探究の時間

…… 卒業までに3単位以上必要です。
本校では総合A・総合B・総合Cとして開講し、それぞれ1単位ずつです。

総合 A

社会の中で、環境問題や高齢社会の問題を知り、将来を見据えてどのように関わっていくべきかを考えます。

面接を受ける時、総合Aの共同学習課題用紙を受け取り完成させます。

総合 B

現代社会は、国と国との協議なくして発展はあり得ません。その端緒としての国際理解について考え、また、郷土を見直してみます。

面接を受ける時、総合Bの共同学習課題用紙を受け取り完成させます。

総合 C

日本国憲法・世界人権宣言・子どもの権利条約に触れることで、人権について考えます。また、自分の特性や進路情報を知り、将来の進路選択に役立てます。

面接を受ける時、総合Cの共同学習課題用紙を受け取り完成させます。



§ 4 令和5年度行事計画

※ 網掛けをしてある日は通信制の休校日です。問合せは、休校日以外の 9 : 00 ~ 16 : 00 の間にお願いします。

令和5年度			行事計画（前期）					
4月			5月			6月		
1	土		1	月		1	木	
2	日		2	火		2	金	
3	月		3	水	憲法記念日	3	土	
4	火		4	木	みどりの日	4	日	地区S③・自治連体育大会
5	水	学年始休終了	5	金	こどもの日	5	月	
6	木		6	土		6	火	
7	金		7	日	日曜S①	7	水	水曜S③
8	土		8	月	月曜S①	8	木	
9	日		9	火		9	金	
10	月		10	水		10	土	
11	火	転編入生受講登録	11	木		11	日	日曜S④・地区S④
12	水	転入生受講登録	12	金		12	月	レポート最終提出期限
13	木	転入生受講登録	13	土		13	火	
14	金		14	日	地区S①	14	水	水曜S④
15	土		15	月		15	木	
16	日	入学式	16	火		16	金	
17	月	振替日	17	水	水曜S①	17	土	
18	火		18	木		18	日	日曜S⑤・ふれあいレク
19	水		19	金		19	月	月曜S③
20	木	受講登録締切	20	土		20	火	
21	金		21	日	日曜S②・地区S②	21	水	
22	土		22	月		22	木	
23	日		23	火		23	金	
24	月		24	水	水曜S②	24	土	
25	火		25	木		25	日	地区S⑤
26	水		26	金		26	月	月曜S④
27	木		27	土		27	火	
28	金		28	日	日曜S③・芸術鑑賞会	28	水	水曜S⑤
29	土	昭和の日	29	月	月曜S②	29	木	
30	日		30	火		30	金	
			31	水				
			・5/28(午前)スクーリング (午後)芸術鑑賞会			・6/4自治連体育大会(本校日曜Sなし) ・6/18(午前)スクーリング (午後)ふれあいレク		

令和5年度			行事計画（前期）		
7月			8月		
1	土		1	火	
2	日	日曜S⑥・地区S⑥	2	水	
3	月	月曜S⑤	3	木	レポート・放送視聴票最終提出期限
4	火		4	金	
5	水		5	土	
6	木		6	日	
7	金		7	月	
8	土		8	火	
9	日	日曜S⑦・地区S⑦	9	水	
10	月		10	木	受験資格発送
11	火		11	金	山の日
12	水	水曜S⑥・レポート最終提出期限	12	土	
13	木		13	日	
14	金		14	月	
15	土		15	火	
16	日	日曜S⑧・島しょ地区S⑧	16	水	
17	月	海の日	17	木	
18	火		18	金	
19	水	夏休開始	19	土	
20	木		20	日	前期試験A
21	金		21	月	前期試験A
22	土		22	火	
23	日		23	水	
24	月		24	木	夏休終了
25	火		25	金	
26	水		26	土	
27	木		27	日	前期試験B
28	金		28	月	前期試験B
29	土		29	火	
30	日		30	水	
31	月		31	木	

1	金	
2	土	
3	日	追試験
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	新・編入生受講登録(予定)
13	水	転入生受講登録(予定)
14	木	
15	金	受講登録締切(予定)
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	秋分の日
24	日	卒業式
25	月	振替日
26	火	
27	水	
28	木	秋休開始
29	金	
30	土	

令和5年度			行事計画（後期）		
10月			11月		
1	日		1	水	
2	月		2	木	
3	火		3	金	文化の日
4	水	秋休終了	4	土	
5	木		5	日	日曜S④・ふれあいレク
6	金		6	月	月曜S③
7	土		7	火	
8	日	入学式 弁論大会 日曜S①	8	水	水曜S③
9	月	スポーツの日	9	木	
10	火		10	金	
11	水	水曜S①	11	土	
12	木		12	日	地区S④
13	金		13	月	レポート最終提出期限
14	土		14	火	
15	日	地区S①	15	水	
16	月		16	木	
17	火		17	金	
18	水	水曜S②	18	土	
19	木		19	日	日曜S⑤・地区S⑤
20	金		20	月	月曜S④
21	土		21	火	
22	日	日曜S②・地区S②	22	水	
23	月	月曜S①	23	木	勤労感謝の日
24	火		24	金	
25	水		25	土	
26	木		26	日	文化祭
27	金		27	月	振替日
28	土		28	火	
29	日	日曜S③・地区S③	29	水	水曜S④
30	月	月曜S②	30	木	
31	火				
			・11/6(午前)スクーリング (午後)ふれあいレク		
12月					
1	金		1	金	
2	土		2	土	
3	日	日曜S⑥・地区S⑥	3	日	日曜S⑦・地区S⑦
4	月	月曜S⑤	4	月	月曜S⑤
5	火		5	火	
6	水	水曜S⑤	6	水	水曜S⑥ レポート最終提出期限
7	木		7	木	
8	金		8	金	
9	土		9	土	
10	日	日曜S⑦・地区S⑦	10	日	日曜S⑧・島しょ地区S⑧
11	月		11	月	
12	火		12	火	
13	水	水曜S⑥ レポート最終提出期限	13	水	
14	木		14	木	
15	金		15	金	
16	土		16	土	
17	日	日曜S⑧・島しょ地区S⑧	17	日	
18	月		18	月	
19	火		19	火	
20	水		20	水	
21	木		21	木	
22	金		22	金	
23	土		23	土	
24	日		24	日	
25	月	冬休開始	25	月	
26	火		26	火	
27	水		27	水	
28	木		28	木	
29	金		29	金	
30	土		30	土	
31	日		31	日	

令和5年度 行事計画（後期）									
1月			2月			3月			
1	月	元旦	1	木		1	金		
2	火		2	金		2	土		
3	水		3	土		3	日	卒業式（予定）	
4	木		4	日	追試験	4	月	振替日	
5	金	レポート・放送視聴票最終提出期限	5	月		5	火		
6	土		6	火		6	水		
7	日	冬休終了	7	水		7	木		
8	月	成人の日	8	木		8	金	受講登録（予定）	
9	火		9	金		9	土		
10	水		10	土		10	日	受講登録（予定）	
11	木	受験資格発送	11	日	建国記念の日	11	月	受講登録（予定）	
12	金		12	月	振替休日	12	火	受講登録締切（予定）	
13	土		13	火		13	水		
14	日		14	水		14	木		
15	月		15	木		15	金		
16	火		16	金		16	土		
17	水		17	土		17	日		
18	木		18	日		18	月		
19	金		19	月		19	火		
20	土		20	火		20	水	春分の日	
21	日	後期試験A	21	水		21	木		
22	月	後期試験A	22	木		22	金		
23	火		23	金	天皇誕生日	23	土		
24	水		24	土	島しょ地区受講登録	24	日		
25	木		25	日		25	月		
26	金		26	月		26	火	学年末休始	
27	土		27	火		27	水		
28	日	後期試験B	28	水		28	木		
29	月	後期試験B	29	木		29	金		
30	火					30	土		
31	水					31	日		

§ 5 教科・科目の学習

1 令和5年度 学習年間スケジュール表

前 期 [スクーリング（面接時数・出席回数）・定期試験日程・レポートの提出期限]

教科	科 目	スクーリング		試験日	レポートの提出期限					
		面接時数	出席回数		進度 1	進度 2	進度 3	進度 4	進度 5	進度 6
国語	現代の国語・前	2	1	B日程	5月20日	5月30日	6月10日	6月25日	7月10日	7月25日
	論理国語①	2	1	A日程						
	文学国語①	2	1	B日程						
	国語表現①	2	1	A日程						
地理歴史	地理総合・前	2	1	A日程						
	歴史総合・前	2	1	B日程						
	地理探究①	2	1	B日程						
	日本史探究①	2	1	A日程						
	世界史探究①	2	1	B日程						
公民	公共・前	2	1	B日程						
	倫理	2	1	A日程						
数学	数学Ⅰ①	2	1	B日程						
	数学Ⅰ②前	2	1	B日程						
	数学Ⅱ①	2	1	A日程						
	数学入門①	2	1	なし						
理科	科学と人間生活①	4	2	B日程	5月30日	6月25日	7月25日			
	物理基礎①	4	2	A日程						
	物理基礎②前	4	2	B日程						
	化学基礎①	4	2	B日程						
	化学基礎②前	4	2	A日程						
	生物基礎①	4	2	A日程						
	生物基礎②前	4	2	B日程						
	地学基礎・前	8	4	A日程	5月20日	5月30日	6月10日	6月25日	7月10日	7月25日
	物理①	8	4	B日程						
	化学①	8	4	B日程						
	生物①	8	4	B日程						
	地学①	8	4	B日程						
保健体育	体育A前	10	5	A日程	6月10日	7月25日				
	体育B前	10	5	A日程						
	体育C前	10	5	B日程						
	体育D前	5	2回＋1時間	なし						
	体育E前	5	2回＋1時間							
	保健①	1	1(1時間)	B日程			7月25日			
	保健②前	1	1(1時間)	B日程						
芸術	音楽Ⅰ①	4	2	なし	5月30日	6月25日	7月25日			
	音楽Ⅰ②前	4	2							
	音楽Ⅱ①	4	2							
	音楽Ⅲ①	4	2							
	美術Ⅰ①	4	2							
	美術Ⅰ②前	4	2							
	美術Ⅱ①	4	2							
	美術Ⅲ①	4	2							
	書道Ⅰ①	4	2							
	書道Ⅰ②前	4	2							
	書道Ⅱ①	4	2							
	書道Ⅲ①	4	2							

教科	科 目	スクーリング		試験日	レポートの提出期限					
		面接時数	出席回数		進度 1	進度 2	進度 3	進度 4	進度 5	進度 6
外国語	英語コミュニケーションⅠ①	8	4	B 日程	5月20日	5月30日	6月10日	6月25日	7月10日	7月25日
	英語コミュニケーションⅡ前	8	4	B 日程						
	英語コミュニケーションⅡ①	8	4	A 日程						
	コミュニケーション英語Ⅲ①	8	4	A 日程						
	英 語 入 門 ①	4	2	なし	5月30日	6月25日	7月25日			
家庭	家 庭 総 合 ①	4	2	A 日程	5月20日	5月30日	6月10日	6月25日	7月10日	7月25日
	家庭総合②前	4	2	A 日程						
	保 育 基 礎	4	2	B 日程						
情報	情 報 Ⅰ・前	4	2	A 日程						
商業	ビジネス基礎・前	4	2	B 日程						
	経済活動と法①	4	2	A 日程						
総合	総 合 A ・ 前	2	1	なし	6月10日	7月25日				
	総 合 B ・ 前	2	1							
	総 合 C ・ 前	2	1							

この表の見方

(1) スクーリング（面接時数・出席回数）

面接時数とは受験資格に必要な時間数です。面接時間は原則90分で2時間分の出席となります。例えば、面接時数4時間の科目は2回出席すれば、必要な時間数を満たすことになります。

(2) 試験日

A日程・B日程ともに、日曜日と翌日の月曜日に行われます。ただし、月曜日は本校のみ実施されます。また、「なし」となっている科目の試験はありません。

※詳しくはP31・P32「試験」をご覧ください。

(3) レポートの提出期限

●各科目のレポート枚数は2～6枚です。進度ごとの提出期限までに提出してください。

●6月12日、7月12日、8月3日にレポートの最終提出期限が定められています。それぞれの期限までに決められた枚数のレポートを提出しないと試験を受験できず、単位修得もできません。

6月12日 レポート**6枚** は進度1・2, **3枚** は進度1

7月12日 レポート**6枚** は進度3・4, **3枚** は進度2, **2枚** は進度1

8月3日 レポート**6枚** は進度5・6, **3枚** は進度3, **2枚** は進度2, 放送視聴票

レポート提出上の諸注意

- (1) レポートは進度1から順序よく提出してください。
- (2) 郵送の場合は消印有効。本校のレポート用ポストに提出する場合は午後4時までとします。
- (3) 再提出を求められたレポートは正しく解答し、1週間以内に送付してください。



後 期

教科	科 目	スクーリング		試験日	レポートの提出期限											
		面接時数	出席回数		進度 1	進度 2	進度 3	進度 4	進度 5	進度 6						
国語	言語文化・後	2	1	A日程	10月20日	10月30日	11月10日	11月25日	12月10日	12月22日						
	論 理 国 語 ②	2	1	B日程												
	文 学 国 語 ②	2	1	A日程												
	国 語 表 現 ②	2	1	B日程												
地理	地理総合・後	2	1	A日程												
	歴史総合・後	2	1	B日程												
	地 理 探 究 ②	2	1	B日程												
	日本史探究②	2	1	A日程												
	世界史探究②	2	1	B日程												
公民	公 共 ・ 後	2	1	B日程												
	政 治 ・ 経 済	2	1	A日程												
数 学	数 学 I ②	2	1	A日程												
	数 学 I ① 後	2	1	A日程												
	数 学 II ②	2	1	B日程												
	数 学 A	2	1	B日程												
	数 学 入 門 ②	2	1	なし												
理 科	科学と人間生活②	4	2	A日程	10月30日	11月25日	12月22日									
	物 理 基 礎 ②	4	2	B日程												
	化 学 基 礎 ②	4	2	A日程												
	生 物 基 礎 ②	4	2	B日程	10月20日	10月30日	11月10日	11月25日	12月10日	12月22日						
	地学基礎・後	8	4	B日程												
	物 理 ②	8	4	A日程												
	化 学 ②	8	4	A日程												
	生 物 ②	8	4	A日程												
	地 学 ②	8	4	A日程												
保 体	体 育 A 後	10	5	A日程	11月10日	12月22日										
	体 育 B 後	10	5	A日程												
	体 育 C 後	10	5	B日程												
	体 育 D 後	5	2回+1時間	なし	10月30日	11月25日	12月22日									
	体 育 E 後	5	2回+1時間													
	保 健 ②	1	1(1時間)	B日程												
	保 健 ① 後	1	1(1時間)	B日程												
芸 術	音 楽 I ②	4	2	なし							10月30日	11月25日	12月22日			
	音 楽 I ① 後	4	2													
	音 楽 II ②	4	2													
	音 楽 III ②	4	2													
	美 術 I ②	4	2													
	美 術 I ① 後	4	2													
	美 術 II ②	4	2													
	美 術 III ②	4	2													
	書 道 I ②	4	2													
	書 道 I ① 後	4	2													
	書 道 II ②	4	2													
	書 道 III ②	4	2													

教科	科 目	スクーリング		試験日	レポートの提出期限					
		面接時数	出席回数		進度 1	進度 2	進度 3	進度 4	進度 5	進度 6
外国語	英語コミュニケーションⅡ②	8	4	A日程	10月20日	10月30日	11月10日	11月25日	12月10日	12月22日
	英語コミュニケーションⅠ①後	8	4	A日程						
	英語コミュニケーションⅡ②	8	4	B日程						
	コミュニケーション英語Ⅲ②	8	4	B日程						
	英語入門②	4	2	なし	10月30日	11月25日	12月22日			
家庭	家庭総合②	4	2	B日程	10月20日	10月30日	11月10日	11月25日	12月10日	12月22日
	フードデザイン	4	2	A日程						
情報	情報Ⅰ・後	4	2	B日程						
商業	ビジネス基礎・後	4	2	B日程						
	経済活動と法②	4	2	A日程						
総合	総合A・後	2	1	なし	11月10日	12月22日				
	総合B・後	2	1							
	総合C・後	2	1							

この表の見方

(1) スクーリング（面接時数・出席回数）

面接時数とは受験資格に必要な時間数です。面接時間は原則90分で2時間分の出席となります。例えば、面接時数4時間の科目は2回出席すれば、必要な時間数を満たすことになります。

(2) 試験日

A日程・B日程ともに、日曜日と翌日の月曜日に行われます。ただし、月曜日は本校のみ実施されます。また、「なし」となっている科目の試験はありません。

※詳しくはP31・P32「試験」をご覧ください。

(3) レポートの提出期限

●各科目のレポート枚数は2～6枚です。進度ごとの提出期限までに提出してください。

●11月13日、12月13日、1月5日にレポートの最終提出期限が定められています。それぞれの期限までに決められた枚数のレポートを提出しないと試験を受験できず、単位修得もできません。

11月13日 レポート**6枚** は進度1・2, **3枚** は進度1

12月13日 レポート**6枚** は進度3・4, **3枚** は進度2, **2枚** は進度1

1月5日 レポート**6枚** は進度5・6, **3枚** は進度3, **2枚** は進度2, 放送視聴票

レポート提出上の諸注意

- (1) レポートは進度1から順序よく提出してください。
- (2) 郵送の場合は消印有効。本校のレポート用ポストに提出する場合は午後4時までとします。
- (3) 再提出を求められたレポートは正しく解答し、1週間以内に送付してください。



2 レポート

(1) レポートの学習の進め方

通信教育は自宅学習が中心です。レポートは教科書・学習書・資料集をもとに解答し、学校へ提出してください。添削指導の後、返送されてきます。レポート学習を効率よく、スムーズに行うには、次のような点に注意することが大切です。

- ア 受講登録後、送られてきたレポートが、自分が受講する科目なのか、受講申込書・学習状況通知で確認し、間違いがあった場合には、早めに担任へ連絡すること。遅くなると単位修得ができません。
- イ レポートの表紙には、注意事項が記載されています。必ず事前に確認すること。
- ウ レポート提出期限・スクーリング日・試験日等を自分の生活の中に組み入れて、長期の学習計画を立てること。
- エ レポート作成は、教科書・学習書・資料集を丹念に読み、NHK高校講座（テレビ・ラジオ・インターネット）も参考にしつつ、自力で取り組むこと。疑問点は、質問用紙やレポートの余白を利用し、指導を受けること。スクーリングだけでなく、電話も有効に利用すること。
- オ 返送されたレポートの添削や批評を注意深く読んで復習し、次のレポート作成のための参考にすること。レポートは大切に保管し、試験準備に役立てること。

(2) 評価（A・B・C・Dが合格，Eは再提出）

レポートはA，B，C，D，Eの5段階評価です。評価Eは不合格で、再提出を求められます。また、提出期限に遅れたレポートの評価は低くなります。

(3) レポートの返送と再提出

次の場合、レポートは添削されずに返送されますので、再提出してください。

- ア 提出が提出期限前で著しく早いもの
- イ 内容がきわめて不十分なもの（空欄が多い等）
- ウ 用紙の破損が著しいもの

(4) レポート提出日

●郵送の場合

消印日とします（ポストに投函または簡易郵便局窓口に出した場合、翌日・翌々日の消印が付くことがあるので注意）。

●レポート用ポスト（本校の通信制課程日課票置場横）の場合

午後4時までに提出すること。午後4時以降に投函されたものは、翌日分として処理されます。

※ 上記以外の方法で提出することは認められません。



レポート用ポスト

(5) レポート最終提出期限

各レポートには、提出期限と最終提出期限が定められていますが、提出期限までに提出しましょう。

最終提出期限は、あくまで病気等、やむを得ないときのためにあります。最終提出期限までに決められた枚数のレポートを提出しないと試験を受験できず、**単位修得もできません**。

※ 前期8月3日と後期1月5日の最終提出期限以降の再提出は、郵送のみの受付です（本校レポート用ポストは利用できません）。

(6) レポート提出方法

レポートは提出期限までに提出してください。また、「学習の手引き」はいつも手元において参考にしてください。それでもわからないことは、遠慮せずに学校に連絡してください。

- ① 自分の学籍番号を示すバーコードシールを貼る。(2カ所)
- ② 学校宛の部分と返信用の部分にそれぞれ15円分の切手を貼る。再提出のときには、新たにそれぞれ15円分貼ること。
- ③ 返信用の部分に自分の郵便番号・住所・氏名を記入する。
- ④ 「差出人」の部分に必要な事項をすべて記入する。添削する「科目添削者名」も書いてください。

注 意 学校に持参する場合は、返信用の切手のみを貼り、レポート用ポストに入れてください。

表（外側） ※科目により形式は異なります。

15円分の切手を貼ること 再提出用 891-0198 鹿児島市西谷山一丁目2-1 鹿児島県立開陽高等学校 通信制課程 御中 鹿児島県教育委員会認可通信教育	生徒個人バーコード貼付 ① 数学Ⅰ① 進度6  0705401 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">科目添削者名</td> <td style="width: 30%;">ホームルーム名</td> <td style="width: 20%;">番号</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>氏 名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>住 所</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> ④	科目添削者名	ホームルーム名	番号		氏 名				住 所			
科目添削者名	ホームルーム名	番号											
氏 名													
住 所													
15円分の切手を貼ること 再提出用 ③ _____様 鹿児島県教育委員会認可通信教育	数学Ⅰ① 進度6 差出人 891-0198 鹿児島市西谷山一丁目2-1 鹿児島県立開陽高等学校 通信制課程												

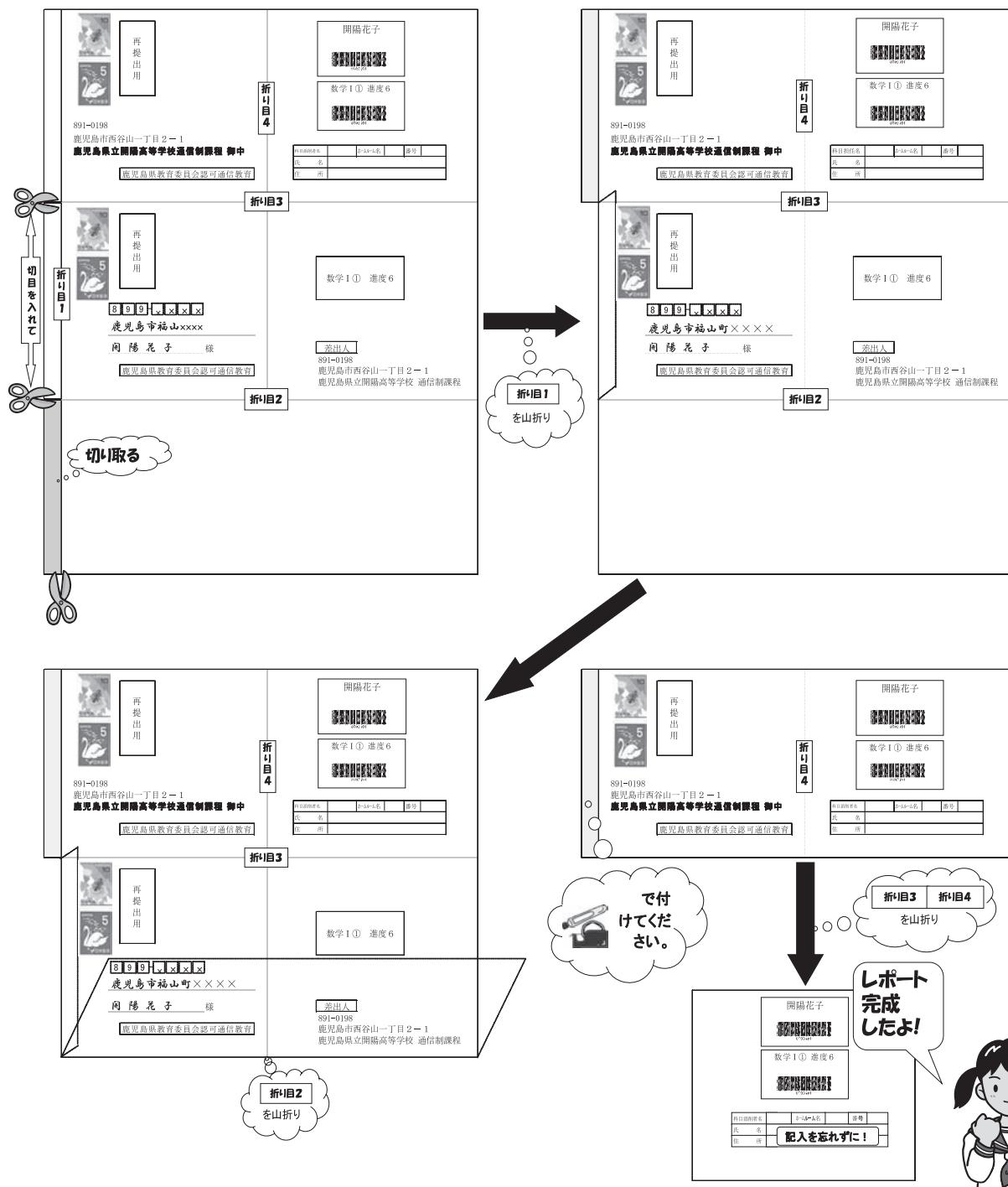
裏（内側）

科目 進度	提出期限	HR	番号	数学Ⅰ① 進度6	生徒個人バーコード貼付	評 価	添削者
数学Ⅰ① 進度6	7月25日		○	 0705401	①	AD BE C	

ホームルーム番号も記入してください。

- ⑤ 「付票」は切り取らない。
- ⑥ **学校宛の部分**が表になるように折り、セロテープ又はのり付けにする。また、ホッチキス等は使用しない。
- ⑦ 添削指導で不合格（E）の場合は、指示された箇所を訂正して、検印の日付から1週間以内に再提出すること。その他、教科の指示に従ってください。

(7) レポートの折り方



◆再提出の場合
再度、切手を15円ずつ貼って使用します。

◆提出する前に再度確認
氏名・住所の記入、バーコードシール貼付

3 面接指導（スクーリング）

(1) スクーリングの種類

種 類	実 施 日	時 限
日 曜 S	日 曜 日 に 本 校 で 実 施 す る ス ク ー リ ン グ	1 ～ 6 限
地 区 S	日 曜 日 に 協 力 校 で 実 施 す る ス ク ー リ ン グ	1 ～ 6 限
島しょ地区S	日曜日に 島しょ地区協力校 で実施する第8回目のスクーリング	1 ～ 6 限
月 曜 S	月 曜 日 に 本 校 で 実 施 す る ス ク ー リ ン グ	1 ～ 6 限
水 曜 S	水 曜 日 に 本 校 で 実 施 す る ス ク ー リ ン グ (事 前 に 申 請 を 要 し ま す)	1 ～ 4 限

※具体的な実施日については、本冊子の「行事計画表」（P 1 7 ～ 2 0）で確認できます。

(2) スクーリング場所の登録・変更

スクーリング場所（本校・協力校）は入学時の提出書類「身上調査書」に記入された場所を登録しています。登録地区を変更する際は担任に申し出てください。

※協力校の生徒は、本校のスクーリングを受けられますが、本校の生徒は、協力校では受講できません。

※協力校の生徒は、登録以外の協力校では受講できません。

(3) 本校スクーリング

前・後期それぞれ日曜日に8回、月曜日に5回実施します。

時間割や教室等の詳細については、「開陽通信」に掲載します。

(4) 地区スクーリング

次表に示す各地区協力校で前・後期それぞれ日曜日に7回実施します。

島しょ地区は8回実施します。

地 区	協 力 校	地 区	協 力 校	地 区	協 力 校
指 宿 地 区	穎 娃 高 校	川 辺 地 区	川 辺 高 校	川 内 地 区	川 内 高 校
出 水 地 区	出水工業高校	大 口 地 区	大 口 高 校	志 布 志 地 区	志 布 志 高 校
鹿 屋 地 区	鹿 屋 高 校	種 子 島 地 区	種 子 島 高 校	屋 久 島 地 区	屋 久 島 高 校
大 島 地 区	大 島 高 校	喜 界 地 区	喜 界 高 校	徳 之 島 地 区	徳 之 島 高 校
沖永良部地区	沖永良部高校	与 論 地 区	与 論 高 校		

地区スクーリングの授業担当者は、協力校を含む当該地区の先生方になります。本校の職員が出張するのは、前・後期それぞれ2回（島しょ地区は1回）です。

本校スクーリングと異なり、時間割、教室、受講の形態等それぞれの地区により若干の違いがあります。詳細は担任より提示されますが、理解を深めるためにも開講式・第1回地区スクーリングに参加しましょう。

(5) スクーリング時間の制約

同一週内に日曜・地区・月曜スクーリングが行われる場合、同じ科目は2時間までしか受けられません。

(例) 日曜日(日曜S・地区S)に「体育A」を2時間受けて、次の日の月曜日(月曜S)にまた「体育A」を2時間受けても無効になります。

※自分の学習のために受けることは構いませんが、2時間しか認められません。

(6) スクーリングの必需品

受ける科目の**レポート・教科書・学習書や資料集(ない科目もあります)・バーコードシール・筆記用具**を持参してください。**体育の授業では、体育館シューズ・ジャージ等が必要です。**

(7) スクーリング出席時の留意点

- ア 本校でのスクーリングに参加する場合は、できるだけ日曜スクーリングに出席してください。
日曜日に都合の悪い場合は月曜スクーリングに出席しましょう。
- イ スクーリングに登校した場合は、まず「日課票」を取りましょう。1日の学習を記録し、下校時には授業担当者に提出します。「出席カード」は、毎時間、授業担当者に提出します。
- ウ 「出席カード」及び「日課票」の科目記入欄は、「地理総合・前」「音楽Ⅰ①後」等の正しい科目名を書いてください。(下に記入例があります。)
- エ スクーリング時の遅刻・早退は、原則としてスクーリングを受講したものと認められません。
- オ 公共交通機関が遅延等の場合、公的な証明書(遅延証明等)でスクーリングを認める場合があります。
- カ その日、最後に使用する教室で受講した生徒は、授業終了後清掃をします。
- キ 地区協力校の施設・設備を汚したり、傷つけたりしないように留意してください。
- ク 生徒証明書(IDカード)を携帯しましょう。(提出を求められる場合があります。)

(8) スクーリング・行事の中止等

自然災害(台風・大雪等)や感染症の流行に伴う休校等や学校行事の決行・中止・延期は、学校で判断しHP・ブログに掲載します。詳細はP46にありますので、各自確認してください。

◆出席カード・日課票の記入例

☆出席カード(毎回の学習を書こう)

(鹿児島県立開陽高等学校通信制課程)

出 席 カ ー ド					
〇〇年 5 月 2 8 日		3 限	指導者 検 印		
		4 限			
区 分	科目名、内容等	時間数	学級担任 処理 ㊟		
面接科目名	化学基礎①	2			
別 活 動					
ホームルーム名	番号	会場	科目担任 処理 ㊟		
A 6	25	本校			
氏 名			開 陽 太 郎		
生徒用バーコード票を貼る					
開陽太郎 0705401					

バーコード
シールを必
ず貼ってくだ
さい。忘れた
場合には学
籍番号等を
記入!

このカード1枚につき、1科目または1内容のみ記入する。

◇授業担当者へ毎回提出!

★日課票(一日の学習を書こう)

(鹿児島県立開陽高等学校通信制課程)

日 課 票					
〇〇 年 5 月 2 8 日					
校時	科 目	指導者	校時	科 目	指導者
1	数学Ⅰ①	大塚	清掃	2階トイレ	泊
2	数学Ⅰ①	大塚	LHR	芸術鑑賞会室内	鳥居
3	化学基礎①	水溜	5	体 育 A	西園
4	化学基礎①	水溜	6	体 育 A	西園
ホームルーム名		組	番号	会 場	最終指導者 ㊟
A・B・C・N		6	25	本 校	
生徒用バーコードを貼る					
開陽太郎 0705401					
学 級 担任 ㊟					

下校時に必ず、日課票を提出しましょう。

◆下校時に担当者へ提出!

(9) 放送視聴票によるスクーリング出席免除

NHKラジオ第2放送およびEテレで放送されている「NHK高校講座」は、本校で使用している教科書・学習書に合わせて構成されている番組です。自宅での自学自習を補い、学習の内容を深めるためにも「NHK高校講座」を視聴しましょう。番組時刻表は、下にあります。

番組を視聴し、所定の**放送視聴票**を提出し合格すれば、その科目のスクーリング出席が一部免除されます。20分番組1回分で面接1時間となります。ただし、商業の「ビジネス基礎」は10分番組のため、2回分を放送視聴票1枚にまとめて提出し合格することにより面接1時間となります。

スクーリング出席免除が可能な科目のレポートには、放送視聴票と番組表が付いています。様式は商業の「ビジネス基礎」以外は共通です。不足した場合には、「ビジネス基礎」以外の分を使用できます。

提出についてはレポートと同様です。また、放送視聴票の最終提出期限は前期分が8月3日、後期分が1月5日です（消印有効）。各科目の視聴票による免除可能な時間数は、下表のとおりです。

放送番組名	科目名	面接時数	免除時数	放送番組名	科目名	面接時数	免除時数
現代の国語	現代の国語	2	テレビ1	化学基礎	化学基礎	4	テレビ2
言語文化	言語文化	2	ラジオ1	〃	化学	8	テレビ4
現代文	論理国語	2	ラジオ1	生物基礎	生物基礎	4	テレビ2
文学国語	文学国語	2	ラジオ1	〃	生物	8	テレビ4
国語表現	国語表現	2	WEB	地学基礎	地学基礎	8	テレビ4
地理総合	地理総合	2	テレビ1	〃	地学	8	テレビ4
〃	地理探究	2	テレビ1	科学と人間生活	科学と人間生活	4	テレビ2
歴史総合	歴史総合	2	テレビ1	音楽Ⅰ	音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	4	ラジオ2
世界史	世界史探究	2	テレビ1	美術Ⅰ	美術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	4	テレビ2
日本史	日本史探究	2	テレビ1	書道Ⅰ	書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	4	テレビ2
公共	公共	2	テレビ1	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	8	テレビ4
倫理	倫理	2	ラジオ1	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	8	ラジオ4
政治・経済	政治・経済	2	ラジオ1	コミュニケーション英語Ⅲ	コミュニケーション英語Ⅲ	8	ラジオ4
数学Ⅰ	数学Ⅰ	2	テレビ1	家庭総合	家庭総合	4	テレビ2
数学Ⅱ	数学Ⅱ	2	ラジオ1	ビジネス基礎	ビジネス基礎	4	テレビ2★
数学A	数学A	2	テレビ1	情報Ⅰ	情報Ⅰ	4	テレビ2
物理基礎	物理基礎	4	テレビ2				
〃	物理	8	テレビ4				

「テレビ4」はテレビ視聴による4時間、「ラジオ4」はラジオ視聴による4時間までの面接時数が免除可能であることを表します。★「ビジネス基礎」は10分番組のため、2回分が面接1時間に相当します。

◇NHK高校講座 2023年度 番組時刻表

※ 変更になる場合もありますので、事前に新聞等で確認してください。

※ ベーシックの各科目・保健体育・英語表現は放送視聴によるスクーリング出席免除を行っていません。

【Eテレ】

曜日		月	火	水	木	金		
午前	10:00~10:20	現代の国語 公共	生物基礎	地理総合 歴史総合	英語コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ 科学と人間生活	10:00~10:20	
	10:20~10:30	現代の国語	化学基礎	日本史	コミュニケーション英語Ⅲ	数学A	10:20~10:30	
	10:30~10:40	数学Ⅰ	地学基礎	世界史	物理基礎	家庭総合	10:30~10:40	
	10:40~10:50						10:40~10:50	
	10:50~11:00						10:50~11:00	
	11:00~11:20					ビジネス基礎 ベーシック数学	11:00~11:20	
11:20~11:30					美術Ⅰ 書道Ⅰ	11:20~11:30		

【ラジオ第2放送】※鹿児島1386 kHz、名瀬1602 kHz、徳之島1539 kHz、阿久根1467 kHz

曜日		月	火	水	木	金	土
午語	7:30~7:50	文学国語	文学国語	日本史探究	コミュ英語Ⅲ	古典	古典
	7:50~8:10	数学Ⅱ	数学Ⅱ	現代文	現代文	倫理	政治・経済
	8:10~8:30	英語コミュⅡ	英語表現Ⅰ	保健体育	音楽Ⅰ	言語文化	言語文化

◇「NHK高校講座」のホームページ

ホームページでは、「NHK高校講座」の番組紹介・時刻表等の情報提供や放送終了後の番組を24時間、パソコンで視聴できるストリーミング配信も同時に行っています。特にラジオ第2放送は地域によっては、受信できない所もありますので、ホームページを利用してみてください。

4 試験

(1) 定期試験

ア 種類

- ① 前期試験 A日程（8月20日）・B日程（8月27日）
- ② 前期追試験（9月 3日）
- ③ 後期試験 A日程（1月21日）・B日程（1月28日）
- ④ 後期追試験（2月4日）

イ 実施科目

前期試験・後期試験は、各教科の科目をA日程（前半）とB日程（後半）に分けて実施します。
具体的な科目名および日程は、P 21～24に記載してあります。

ウ 試験範囲

各科目とも、レポート中心に出題されます。試験についての範囲や対策等は「開陽通信」に詳しく掲載されます。（前期試験…「開陽通信」7・8月号 後期試験…「開陽通信」12月号）

エ 合格の基準

前期、後期それぞれに**試験点やレポート点をもとに成績が算出**されます。合格基準点（原則として30点）に満たない場合は、当該科目を追試験で受験します。

オ 試験会場

本校及び各協力校において実施します。協力校が行事等で使用できない場合は試験期日は変更せずに会場を変更して実施します。会場変更の際には「開陽通信」等でお知らせします。

- ◎ 自分の登録地区以外での受験を希望する場合には、必ず「学習の手引き」末尾の「登録地区外受験申請書」を担任宛に、**前期8月3日必着、後期1月5日必着**で提出してください。

申請がなされない場合は、登録地区外での受験は認められません。

カ 受験資格

定期試験を受験するためには、P 21～24に記載の各科目の前・後期の所定の面接時数を満たし（放送視聴票も含む）、各期のレポートが全て合格していることが条件です。受験資格は郵送にて通知します。

キ 追試験について

追試験は前・後期にそれぞれ実施します。対象者には郵送にて通知します。（後期に前期の追試験は受けられません。）

下記①、②の生徒が対象です。

- ① 上記カの条件を満たしながら、前・後期のA・B日程の試験を受験できなかった者（**未受験者**）
- ② 前・後期試験を受験し、合格基準点に満たない点数をとった者（**再受験者**）

※ ①の場合は、**最大6科目**まで受験可能です。未受験のすべての科目の受験を保障するものではありません。

※ **A・B日程で受験するように心掛けてください。**
安易な追試験での受験はやめましょう。



ク 欠席の連絡について

やむを得ず受験できない場合は、必ず担任に連絡すること。下記の理由による欠席は、公的な証明書を出することで、未受験者が追試験で7科目以上受験できます。

- ① 「公共交通機関の遅延・運休・欠航」
- ② 「交通事故」
- ③ 「インフルエンザ等による出席停止」
- ④ 「卒業予定者の緊急入院」

また、上記の理由で追試験を受験できなかった場合、別日に受験を認めることがあります。

ケ 自然災害時等の試験の実施について

自然災害（台風・大雪等）に伴う試験の中止・実施等は、学校で判断し、ブログ（P 4 6）に掲載します。各自で確認してください。その後の対応については、学校から連絡します。

(2) 受験上の注意

受験にあたっては、次の点を厳守してください。

- ア 厳正な態度で受験し、不正行為がないようにする。不正を行うと、受験は無効となる。
- イ 受験中は机上や机中に教科書・学習書・レポート等を置かない。
- ウ 答案はたとえ白紙であっても必ず提出する。持ち帰ることは厳禁とする。
- エ 試験時間は、45分を原則とし、開始20分後から答案提出後の退室を認める。（本校では、試験開始10分経過以降の入室は認めない。）
- オ 本校での試験は1限につき1科目しか受験できない。ただし、協力校での受験は答案提出後引き続き次の科目を受験できる。
- カ 試験の際には、当該試験の受験資格が判断できる「受験資格通知」（学習状況通知）・生徒証明書（IDカード）を必ず持参する。
- キ 携帯電話・スマートフォン等の使用は禁止する。試験中は電源を切りバッグ等に入れておく。

(3) その他の注意

試験終了後、下校する際に、「日課票」を必ず提出する。

《各科目試験実施一覧表》

試験の種類	実施科目・方法等の説明	実施期日			試験場
定期試験 ・前期試験 ・後期試験	・本年度の受講科目について実施する 正規の試験 ・二期（前・後期）に分け、実施科目 をA・B日程に分けて実施する。	前期試験 A・B	A	8月20日（日） 8月21日（月）	日曜日 ・本校 ・協力校
			B	8月27日（日） 8月28日（月）	
		後期試験 A・B	A	1月21日（日） 1月22日（月）	月曜日 ・本校
			B	1月28日（日） 1月29日（月）	
追試験	・受験資格がありながら、定期試験を 受験していない者について6科目まで 該当の科目を実施する（未受験）。 ・定期試験の成績が芳しくなく再度試 験が必要と科目担任が判断した者につ いて該当の科目を実施する（再受験）。	前期追試験		9月 3日（日）	日曜日のみ ・本校 ・協力校
		後期追試験		2月 4日（日）	

§ 6 特 別 活 動

1 卒業の要件

特別活動の内容には、ホームルーム活動・生徒会活動及び学校行事等があり、1期につき5時間以上の出席を標準とし、卒業までに30時間以上出席しなければなりません。(転編入生については、前籍校での在籍期間・修得単位数等を考慮して算定する。)

2 ホームルーム活動

ホームルーム活動は、共同生活の問題点や学習上の課題を集团的に考え、自主的に解決し、処理していく活動です。スクーリング日に開かれるロングホームルーム(LHR)では、諸連絡の確認のほかに、学校生活、社会生活、進路などについて一緒に考えることで、交友を深めていきます。

3 生徒会活動

生徒会活動は、全校生徒を会員として、学校における自分たちの生活の改善と向上を目指し、学校生活の運営に生徒の立場から自発的に参加する活動です。

～生徒会活動の内容～

(1) 学校における生徒の生活の改善と向上を図る活動

(2) ホームルーム・部活動等における生徒会活動の連絡調整に関する活動

(3) 学校行事等の推進に関する活動

生徒会活動の運営は、地区生徒会を基礎として行われます。生徒会の行事的活動としては、本部委員会、代議員会、ふれあいレクリエーション、弁論大会、文化祭、地区や他校との交歓会、地区誌作成等があります。

4 学校行事

学校行事は、学校生活に潤いを与え、仲間たちとの交友を広げます。生き生きとした思い出に残る学校生活を送るために、積極的に学校行事に参加してください。本校で行う学校行事には次のものがあります。

ア	儀式的行事	……………	入学式・卒業式
イ	学芸的行事	……………	文化祭・弁論大会・芸術鑑賞会
ウ	健康安全・体育的行事	……………	ふれあいレクリエーション

これらの学校行事には、自主的・積極的に参加してください。特に、ふれあいレクリエーション(6月・11月)・芸術鑑賞会(5月)・弁論大会(10月)・文化祭(11月)等は、大きな行事です。

5 特別活動における特活時数及び面接時数の算定基準

ホームルーム・生徒会活動・学校行事等への参加は、特活時数に算定されます。特活時数だけでなく面接時数に算定されるものもあります。なお、前期に実施される行事は前期開講科目に、後期に実施される行事は後期開講科目に算定します。

なお、特活時数については大会等における移動のみの日は算定しません。

	活 動		特活時数	面接時数	備 考
HR	ロングホームルーム (LHR)		1		同一週内の時間数の制約はありません。
生徒会活動・部活動等	九通研生徒会役員研修会 (1泊2日)		各2	※	特活については1日2時間
	代 議 員 会		2		
	本 部 委 員 会		2		
	執 行 部 会		1		
	生 徒 会 交 流 研 修 会		2		
	自治連大会 ・体育大会 ・生活体験発表大会	出 場 者	2	※	
		応 援 者	2		
		全 国 大 会	2～6	※	特活については大会日程に応じて1日2時間、最大6時間
	学校代表による大会出場・参加		2	※	学校代表とは、派遣規定に基づき認められたものとする。
学 校 行 事 等	ふれあいレクリエーション		2	2	体育科のうちいずれか1科目 ※保健は除く
	校内弁論大会	出 場 者	2	4	国語の面接科目2時間と下記の、出席者に与えられる面接科目のうち国語以外の2時間分
		出 席 者	2	2	総合的な学習、国語科、家庭科、公民科のうちのいずれか1科目
	芸 術 鑑 賞 会		2	2	総合的な学習、芸術科のうちのいずれか1科目。内容によっては国語の面接を認める。その場合は、開陽通信等で事前に連絡します。
	文 化 祭	展 示	2		レポート課題以外の展示作品出品者に限る。
		舞台・バザー	2		舞台の出演・バザー(フリーマーケット含む)出店者
		出 席 者	2	2	総合的な学習、芸術科、家庭科のうちのいずれか1科目
		文化祭実行委員・生徒会役員	2		文化祭事前準備または当日の業務に参加したもの
					特活については最大4時間までとする。
	第1回本校スクーリング(ガイダンス)		1		前期のみ実施。
	地区スクーリング	開 講 式 (1限目)	1	1	開講式には地区生徒会発会式も含む。面接時数は、その科目の出席時数の5割以内
		オリエンテーション (2限目)		1	科目の面接時数は、P21～24で確認してください。
	入 学 式		1		
	卒 業 式		1		該当期の卒業予定者は認めない。
	受 講 登 録	在 校 生 (3月)	1		
		新 全 体 会	1		
		入 生 オリエンテーション	1		

※については、スクーリング日と重なった場合、登録地区の時間割に合わせて最大6時間の面接を認める。

§ 7 学校と生徒との関係

1 受講登録をしない場合の措置

受講登録をしていない生徒は、学習活動を行うことができません（P 9 参照）。
本校では、次に該当する生徒は「退学（除籍）」とします。

- (1) 2年連続して受講登録をしなかった者
- (2) 休学期間を満了したにもかかわらず復学しなかった者

2 身分上の手続き（用紙は本書末尾に添付してあります。）

次の場合は、所定の「届」「願」を提出してください。

- (1) 住所又は氏名を変更したとき。-----住所・氏名変更届
- (2) 病気、その他の理由で長期間学業を続けられないとき。-----休学願
- (3) 休学中の生徒が復学しようとするとき。-----復学願
- (4) やむを得ない事情があって、退学しなければならないとき。-----退学願
- (5) 他の高校へ転学を希望するとき -----転学願
- (6) 本校の全日制課程又は定時制課程へ転籍を希望するとき。-----転籍願
- (7) 留学しようとするとき。-----留学願
- (8) 転科を希望するとき。-----転科願

（ 技能連携校を退学すると、衛生看護科には在籍できませんので、普通科への転科手続きをしてください。 ）

3 一般的手続き（用紙は本書末尾に添付してあります。）

(1) 証明書の交付申請

在学証明書・成績証明書・調査書等の交付を受けたいときは、学校所定の様式による証明書交付申請書を提出してください。また郵便で交付申請するときは、返信用切手を貼付した返信用封筒（宛名明記）を同封してください。返信用切手代については、巻末の「事務関係の手続き」に記載してあります。なお、卒業後は、証明書1通につき手数料400円が必要です。定額小為替（何も記入しない。）で必要枚数分申し込んでください。

(2) 学割証の交付申請（JR・船舶（離島航路））

学割証の交付を受けたいときは、学生割引証交付願を提出してください。

郵送での交付申請は(1)に同じです。また、使用については制限があります。詳細はP 41を参照してください。

(3) 校外における集会届

生徒会（地区生徒会を含む。）やホームルームのレクリエーションとして交歓会、遠足、海水浴、登山、キャンプ等の校外における集会活動を行う場合は、必ず、「集会届」を提出しなければなりません。

4 賞罰

- (1) 校長は、本校生徒としての本分を尽くし、他の生徒の模範となる者、その他適当と認める者を表彰することができます。

- (2) 校長は、教育上必要がある場合は懲戒処分をすることができます。

- (3) 校長は、生徒が次のいずれかに該当する場合は、退学に処することができます。

ア 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

イ 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者

5 諸届・願

本書末尾に添付していない用紙は、担任宛に請求してください。なお、郵送を希望する場合は、84円切手貼付の返信用の封筒（宛名明記）を同封してください。

6 学籍・HR番号等

入学時に学籍番号とホームルーム番号（HR 番号）が決定します。それぞれの番号は以下に示した内容を表します。大切な番号ですので必ず覚えておいてください。また、後日、生徒証明書（IDカード）が配付されます。

(1) ホームルーム番号

年度ごとに変更する番号（1 年間だけ使用）で、その年度に所属しているクラスとクラス内での整理番号を表します。最初の 3 文字はクラスを示します。例えば、ホームルーム番号 A 0 3 2 5 は A 3 組の 2 5 番の生徒を表します。

A 0 3 2 5
クラス 番号

(2) 学籍番号

学籍番号は入学時に決定し、在学中変更しない番号です。番号は 7 桁の数字で、最初の 2 桁の数字は入学年度（西暦）の下 2 桁を示します。例えば、学籍番号 2 3 5 1 9 3 6 は 2 0 2 3 年度に入学した生徒を表す他、下表のように付しています。

例) 2 3 5 1 9 3 6
 A B C D

入 学 年 度 A	所 属 課 程 学 科 等 B		入 学 区 分 C		生 徒 番 号 D	
					前期入学	後期入学
0 0 ～ 9 9 西暦2000年を00 西暦2021年を21 等のように 入学年度を西暦の下 2 桁で表示する	5	普 通 科	1	新入生	001～499	501～999
			2	転入生	001～499	501～999
			3	編入生	001～499	501～999
	6	衛 生 看 護 科	1	新入生	001～499	501～999
			2	転入生	001～499	501～999
			3	編入生	001～499	501～999
	9	併 修 生	1	奄美定時併修	001～499	
			2	その他併修生	001～499	
	0	科 目 履 修 生	8	科目履修生	001～499	

(3) 生徒証明書（IDカード）

生徒一人一人の認証と安全を確保するために、本校及び協力校でスクーリングを受ける生徒は、IDカードを着用（携帯）することになっています。また、本校 3 階にあるパソコンで、学習状況確認の際にも必要です。



生 徒 証 明 書

開 陽 花 子

学籍番号 No. ←

ここに記されている数字が学籍番号です。

※試験の際は ID カードが必要です。紛失や期限切れの場合は担任へ連絡してください。

住所・氏名変更届※本書末尾に添付してあります。

氏名又は住所を変更した場合、速やかに届けてください。
また、転居の場合は、もよりの郵便局に転居届を出してください。

§ 8 学校との連絡

通信教育においては、学校と生徒との間で郵便や電話等で連絡を取り合うことが頻繁にあります。支障なく連絡が取り合えるように、以下の項目を熟読し、厳守してください。

1 生徒から学校への連絡

(1) 電話による場合

- ① 電話は、休校日以外の午前9時～午後4時までにかけてください。
- ② 教科関係(レポート内容等)や担任への諸連絡は、通信制職員室直通電話099-263-3723へかけてください。スクーリング等の振替休日があるので行事計画表(P17～20)で確認してください。
- ③ 099-263-3733の電話は全日制及び定時制と一緒に使用していますので、用件の前に「通信制」であることを明らかにしてください。

(2) 郵便による場合

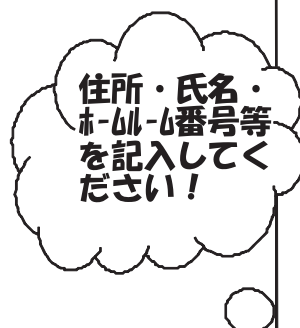
- ① 質問書等を本校へ送付するときは、**第4種郵便物**の取り扱いを受けることができます。ただし、次のことに注意してください。

ア 開陽高校通信制へ送付するものに限られること。

イ 郵便物の表面の見やすいところに「**鹿児島県教育委員会認可通信教育**」と記載して、開封(封筒の一部を切っておく。)にすること。

- ② 郵便料金は、次の表のとおりです。

重量	料金
100gまで	15円
200gまで	25円
300gまで	35円
400gまで	45円
500gまで	55円
600gまで	65円
700gまで	75円
800gまで	85円
900gまで	95円
1kgまで	105円



切り取る

100gまで
15円
100g増す毎
に10円増

8 9 1 - 0 1 9 8

鹿児島市西谷山一丁目2-1
鹿児島県立開陽高等学校

通信制課程 御中

鹿児島県教育委員会認可通信教育

ホームルーム 組 名	ホームルーム 番 号
氏 名	
住 所	

- ③ 証明書交付申請書、住所・氏名変更届、休学願及び退学願等を送付するときは「通常郵便物」の取り扱いになりますので、84円分の切手を貼ってください。返信を必要とするときには、返信用切手を貼った返信用封筒(宛名明記)を同封してください。なお、返信用切手代については、巻末の「事務関係の手続き」に記載してあります。

④ 送金の方法

学校への送付金は、送金の内訳を記入した用紙を必ず同封し、郵便為替か現金書留で送ってください。なお、郵便為替で送金するときは必ず簡易書留扱いで送付し、その際、郵便為替には何も記入しないでください。領収書の必要な生徒は、84円分の切手を貼った返信用の封筒(宛名明記)を同封してください。

2 学校から生徒への連絡

(1) 開陽通信

生徒の学習活動を促進し活発にするために、機関誌「開陽通信」を年10回発行し、皆さんの手もとに郵送します。通信制での学習活動にとって大変重要な内容ですので、隔々までよく読んでください。

主な内容は以下のとおりです。

- ① 学習上の重要事項（時間割・試験範囲・受講登録の日程等）
- ② 学校行事・生徒会活動等の連絡と記録・報告
- ③ 各時点での特別注意事項
- ④ 生徒にとって有意義な話題

その他、進路に関すること、地区活動に関すること等の連絡が添えられることもあります。

通信制での生活の大切な記録資料ともなるので、毎号ファイルに綴じて保存しましょう。



(2) 学習状況通知

学習状況通知を学校から皆さんに郵送します。学習状況通知は皆さんの学習状況（スクーリング出席状況・レポート提出状況・特別活動出席状況等）を知らせる大事な連絡です。

次の「学習状況通知の見方」を参照



学習状況通知

印刷日付 平成30年 月 日

普通科

印刷日付 平成30年 月 日

鹿児島県立開陽高等学校 通信制課程

H R 番号 生徒番号 氏名		担任 印													
	科目名	選択	単位	14(→) 面接	進度1 S1	進度2 S2	進度3 S3	進度4 S4	進度5 S5	進度6 S6	前期試験 後期試験	単位 評定			
前期	国語表現①		2	終了	A	A	A	A	A	A	100	2			
				終了	6/25	2						5			
	日本史B①	選択	2	終了	A	A	A	A	A	A	100	2			
				終了	6/4	2						5			
	地理B①	選択	2	終了	D	A	A	B	A	A	97	2			
				終了	6/25	2						5			
	理科入門①		1	終了	A	A	A					1			
				終了	7/2	2	7/9	2				5			
	体育B前	必	2	終了	A	A	A	A	A	A	100	2			
				終了	5/5	2	6/4	2	6/18	2	6/25	2	7/9	2	5
	子発達保育		2	終了	A	A	A	A	A	A	96	2			
				終了	6/4	2	6/18	2				5			
総合C前	必	1	終了	A	A						1				
			終了	6/18	2										
後期	国語表現②		2	終了	A	A	A	A	A	B					
				終了	10/8	2									
	日本史B②	選択	2	終了	A	A	A	A	C	A					
				終了	10/15	2									
	現代社会後	選択	2	終了	A	A	A	A	B	A					
				終了	11/19	2									
	理科入門②		1	終了	A	A	B								
				終了	10/15	2	11/19	2							
	体育C後	必	2	終了	A	B									
				終了	10/6	2	10/15	2	10/22	2	10/29	2	11/19	2	
	保健②	必	1	終了	A	A	B								
				終了	10/22	1									
	ビジネス基礎後		2	終了	A	A	B	A	A	A					
				終了	10/22	2	11/12	2							
	情報科学後	選択	2	終了	A	A	A	A	B	B					
				終了	10/29	2	11/12	2							
	消費契約		1	終了	A	A	A								
				終了	10/29	2									
総合A後	必	1	終了	A	A										
			終了	10/8	2										

教科外通知事項							
既修得単位数	63 単位	出席日数	13 日	特活時数本年度	37 時間	特活時数合計	37 時間
<通信制>							

(3) その他

受験資格通知、成績通知票、受講登録関係書類など郵送されます。

通信制では郵送であらゆる連絡をします。これらの郵送物は必ず内容を確認して、不明な点があれば速やかに学校に連絡してください。

「学習状況通知の見方」について

学 習 状 況 通 知

普通科

印刷日付 令和 年 月 日

HR番号 ○○○○				鹿児島県立開陽高等学校 通信制課程									
生徒番号 ○○○○○○○○				担任 ○○ ○○ 印									
氏名 開陽 太郎													
	科目名	選必	単位	レポート	准度 1	准度 2	准度 3	准度 4	准度 5	准度 6	前期試験	単位	
				面接	S1	S2	S3	S4	S5	S6	後期試験	評定	
前期	現代の国語前	必	2	残 6									
	地理総合前	必	2	残 2									
	数学Ⅰ②前	必	2	残 6									
	化学基礎①	選必	2	残 2									
	化学基礎①	選必	2	残 8									
	体育A前	必	2	残 2									
	体育A前	必	2	残 10									
	保健①	必	1	残 2	A	*E							
	保健①	必	1	残 1									
	音楽Ⅰ①	選必	1	残 3									
後期	音楽Ⅰ①	選必	1	残 4									
	家庭総合①	必	2	残 6									
	家庭総合①	必	2	残 4									
総合C前	必	1	終了	B	C								
総合C前	必	1	終了	4/28 2									
後期	言語文化後	選必	2	残 6									
後期	言語文化後	選必	2	残 2									

「残 6」・・・ レポート又は面接時数の残り枚数・時間
 「終了」・・・ レポート又は面接時数が終了したことを表します。
上段がレポート、**下段**が面接の進み具合を表します。

科目名のあとについている数字は・・・
 『①』＝科目内容の前半部分 『前』＝前期開設科目
 『②』＝科目内容の後半部分 『後』＝後期開設科目
 1年を通して開設し、完結する科目は、①・②で前半・後半の内容を区別します。前後期とも同じ科目を開設している科目は、前・後で開設時期を区別します。

レポートの評価です。A B C Dは「合格」、*Eは「再提出」ですので、各教科の指示に従ってください。

『必』は「必修科目」、『選必』は「選択必修科目」です。

4/28 2に2時間面接を受けたことを表します。

今までの特活時数の合計です。卒業条件として**30時間必要**

教科外通知事項

既修得単位数	49 単位	出席日数	1 日	特活時数本年度	2 時間	特活時数合計	26 時間
--------	-------	------	-----	---------	------	--------	-------

<通信欄>

- まず、受講科目を確認しましょう。この表には本年度分、全ての受講科目が印刷されています。
- 右上の印刷日付を確認してください。この日までにコンピューター入力がなされている分しか出ません。日付より前の日にレポートを送っていて、仮にその添削等が済んでいても、評価のコンピューター入力が入っていないと出ない場合があります。また、日曜日にスクリーニングがあって、月曜日や火曜日にあたる日付だと、面接時数の入力もまだ入っていない場合があります。多少の時間のずれが出る可能性があります。
- 下の方に印刷されている「教科外通知事項」の中の「特活時数本年度」は本年度分、「特活時数合計」は今までの合計です。「特活時数合計」が30時間以上でないと卒業できません。
- レポートがすでに返却されて手元にあるのに、「学習状況通知」では印刷されていない、面接を受けたはずなのに、面接の時数が入っていない等の疑問点は担任に問い合わせてください。

§ 9 通信制課程で学ぶ生徒への教育費助成等

1 教科書・学習書

通信制課程への修学を促進することを目的として、教科書・学習書を有職の生徒に無償で給与する制度があります。有職とは、「**定職に就いている者（自家営業を含む。）及び１年間９０日以上パート又は、アルバイトの職に就いている者**」となっています。有職生徒以外でも、**疾病等その他やむを得ない理由がある生徒**については、無償給与の対象になります。

これらは、「通信制高等学校教科書・学習書給与申請書」（以下「無償給与申請書」という。）に有職又は疾病等の証明書を添えて申請し、承認されると無償となります。

無償給与の対象となるのは、卒業を目的として在学し、次のような条件を満たした生徒です。

(1) 新入生

２科目以上の教科書・学習書を購入する生徒で、「無償給与申請書」に証明書等を添付して申請し、承認されると無償になります。

(2) 定時制課程又は通信制課程から転・編入してきた生徒（県外を含む。）

① 前籍校の在籍も含めて、２年目の生徒

前籍校で**１４単位以上**を修得し、令和５年度に**２科目以上の教科書・学習書を購入する生徒で、「無償給与申請書」に証明書等を添付して申請し、承認されると無償になります。**

② 前籍校の在籍も含めて、３年目以上の生徒

２８単位以上を修得し、令和５年度に**２科目以上の教科書・学習書を購入する生徒で、「無償給与申請書」に証明書等を添付して申請し、承認されると無償になります。**

(3) 全日制課程から転・編入してきた生徒（県外を含む。）

２科目以上の教科書・学習書を購入する生徒で、「無償給与申請書」に証明書等を添付して申請し、承認されると無償になります。

(4) 在校生

入学後**２年目の生徒は１４単位以上**、入学後**３年目以降の生徒は２８単位以上**修得済みで**２科目以上の教科書・学習書を購入する場合、「無償給与申請書」に証明書等を添付して申請し、承認されると無償になります。**ただし、同一科目一回限りです。

* 無償給与の申請期限

（前期入学生・在校生）

令和５年 ８月３１日（木）

（後期入学生）

令和５年 １０月３１日（火）

2 奨学資金の貸与・給与

	日本学生支援機構（予約募集）		県育英財団（在学募集）
出願資格	大学・短期大学・専修学校専門課程進学予定者		在学生
募集時期	4月中旬		4月中旬
提出書類	同意書・所得証明書等		貸与申請書・所得証明書等
給付・貸与額	給付型	学力・家計基準あり 月額1～7万	(自宅) 貸与月額18,000円
	貸与型	第一種 利息なし 月額2～6万円	(自宅外) 貸与月額23,000円
		第二種 利息あり 月額2～12万円	
貸与期間	在学中（最長4年間 医学部は6年間）		高校在学中（最長4年間）

	県育英財団（大学等入学時奨学金）
出願資格	大学・短期大学・専修学校専門課程進学予定者
募集時期	4月下旬～5月上旬
提出書類	貸与申請書・所得証明書等
貸与額	入学金及び、初年度授業料の一部
貸与期間	大学等入学後の7月～8月末までの間に送金

	高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金
出 願 資 格	① 在学生で、経常的収入を得ることができる 職業に就いている生徒 （生徒が単身独立者の場合は年間所得27.9万円以下） ② 独立行政法人日本学生支援機構の学資又は県育英財団の奨学金の貸与を受けていない生徒 ③ 4年以内で卒業する見込みのある生徒 ④ 年間18単位以上履修している生徒
募 集 時 期	一次申請・・・5月初旬 二次申請・・・9月初旬
提 出 書 類	申請書・就職証明書・所得額証明書等
貸 与 額	月額 14,000円
そ の 他	① 貸与は1年間限りなので、希望するときは毎年申請する必要がある。 ② 卒業すれば返還は免除されるが、退学したときは全額返還しなければならない。 ③ 貸与は就労していることが条件であるため、毎月勤務先からの就労証明書を提出する必要がある。

※ 詳細については事務室におたずねください。

3 勤労学生の所得額控除

通信制課程の生徒は、所得税法による勤労学生控除の対象になります。
 該当者は、勤務先の給与担当者へ相談してください。

4 郵便料の軽減

郵便法及び同規則の定めによって、通信教育のレポート、質問書その他の教材は、第4種郵便物の取り扱いを受けるので100gまで15円、100gを超え1kgまで100g増す毎に10円増となります（P37参照）。

5 旅客運賃の割引

(1) JR利用の場合

スクーリング、試験及び行事等で、本校へ登校するときに、割引普通回数乗車券（5割引）を購入できます。

(2) 船舶（離島航路）利用の場合

甕島、種子島、屋久島及び奄美群島等の航路は、割引の適用があります。
 なお、運賃の割引を適用していない交通機関もありますので、各自で確かめてください。

(3) 旅行の場合

旅行の目的が「規則の範囲内」に限り、運賃割引を受けることができます。
 (例) 休暇、所用による帰省、就職又は進学のための受験、傷病の治療、保護者の旅行への随行等

§ 10 生活の心得

一人一人が、人間として、また社会の一員として、自分の行動に責任を持ってください。

行動の指針として大きな目標を三つ掲げます。

① 人に迷惑をかけない …… 社会の一員としての自覚を

授業中などは携帯電話・スマートフォン等の電源を切る、駐車マナーを守る、ゴミや吸い殻のポイ捨てはしないなど、人に迷惑をかけないことは、社会の一員として生活する上での最低限のルールです。

② 自主的に行動する …… ボランティアの精神で

例えば、教室をきれいにする行動一つをとってみても、いいことだとわかっていながら、取りかかれなことがあります。誰かに指示される前に、自分の判断で自主的に取りかかるとすがすがしい気持ちになります。

③ 思いやりの心をもつ …… 人権尊重の考えを大切に

思いやりの心を持ち、互いに相手を認め合い、励まし合う人間関係をつくり、いじめや、差別のない学校生活でありたい。

1 学校生活について

- (1) 学校施設や備品等は大切に扱い、公共物を故意に汚損・破損しない。校内の施設や器具等を破損したら、必ず届ける。
- (2) 校舎内外の美化に努め、授業終了後は、教室の清掃・整理整頓をする。空きカンや弁当ガラ等のゴミは各人の責任で持ち帰る。タンやツバのはき捨てはしない。
- (3) 校内でのポスターやビラの掲示、文書の配布、物品の販売・斡旋については、必ず許可を受ける。
- (4) 出校日以外の日に、教室・校具を使用したいときは、あらかじめ許可を受ける。

2 服装について

- (1) 学習活動にふさわしい服装で登校し、学習の場、公共の場であることを自覚して、時と場所に応じた身だしなみに気をつける。極端にラフな服装、華美な装い、肌の露出等には注意する。靴（ピンヒールは禁止）以外の履物は使用しない。
- (2) 教室・職員室など室内では脱帽し、サングラスやコート、マフラー等は着用しない。ただし、事情のある者は、授業担当者に届け出る。

3 所持品について

- (1) 所持品の管理は、各自が責任をもって行い、不必要な金品を持ってこない。紛失物、拾得物は、速やかに職員室に届ける。
- (2) 貴重品は持参せず、盗難の未然防止に努める。

4 授業及び学校行事について

- (1) 授業中や集会時は、担当教師の指示に従い、他の者の迷惑にならないように心がける。
- (2) 授業中や集会時は自分勝手に出入りしない。また、私語等をつつしみ、飲食等は禁止する。
- (3) 授業には遅刻しない。10分以上の遅刻については出席を認めない。
- (4) 携帯電話・スマートフォン等の使用はマナーを守り、授業中や集会時では電源を切るかマナーモードにする。

5 喫煙について

- (1) 未成年の喫煙は法律で禁止されている。学校内外を問わず絶対吸ってはならない。
- (2) 成人においても、学校敷地内での喫煙は禁止する。

6 通学・交通マナーについて

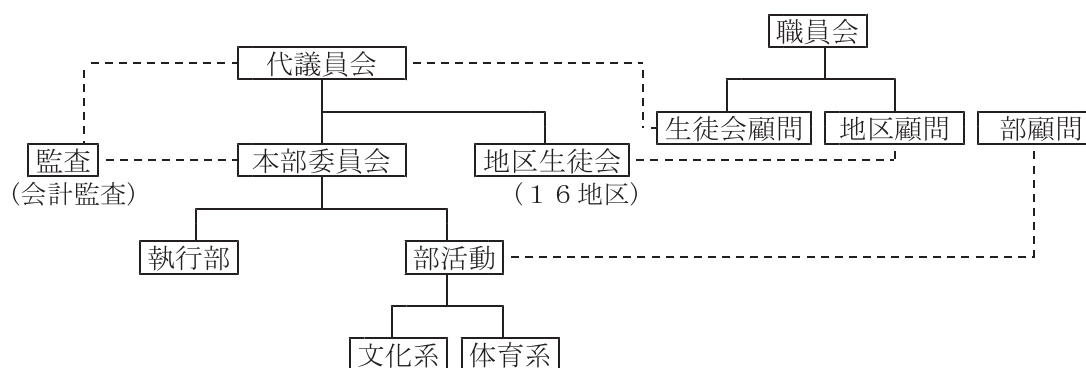
- (1) スクーリング等に出校する場合は、極力、徒歩・自転車又は公共の交通機関を利用する。
- (2) 学校からの距離が遠いことや、身体的な理由又は仕事の都合等で、自動車や単車での通学を希望する場合は、「通学方法届（兼通学願）」を提出し、許可を受ける。
- (3) 身体的理由で、校内駐車を必要とする人は、特別許可の申請をし、車内に特別許可証を提示する。
- (4) 校内での自動車・単車の乗り回し・空ぶかし等は厳禁する。
- (5) 自転車・単車・自動車は、それぞれ指示された場所に駐車する。路上等の違法駐車はしない。
- (6) 自転車通学者は、自転車損害賠償保険へ加入し、乗車用ヘルメットを着用するよう努めること。
- (7) 交通規則・マナーをしっかり守り、事故防止に心がける。

7 その他

- (1) 生徒証明書（IDカード）は、各自携帯する。
- (2) 校外で起こった生徒の事故は、速やかに学校に連絡する。

§ 1 1 生 徒 会

1 生徒会機構



2 生徒会会則

第一章 総 則

第1条 本会は、鹿児島県立開陽高等学校通信制生徒会と称し、通信制生徒全員で組織する。

第2条 本会は、会員相互の友情と協力に基づき、学校生活における活動を通じ、自律の精神と民主的に行動する態度を養い、夢・実現することを目的とする。

第二章 機 関

第3条 本会に、次の機関を置く。

- (1) 代議員会
- (2) 本部委員会
- (3) 地区生徒会
- (4) 監査委員会
- (5) 執行部会
- (6) 選挙管理委員会

第4条 本会のすべての会合は、構成員の過半数の出席で成立し、議事は、出席者の過半数の賛成をもって決定する。

第5条 本会の決議事項は、職員会の承認をうけるものとする。

第三章 役 員

第6条 本会の機関に次の役員を置く。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (1) 生徒会長 1名 | (2) 副会長 2名 (体育・文化) |
| (3) 書記 1名 | (4) 会計 1名 |
| (5) 執行委員 2名 | (6) 議長 1名 |
| (7) 副議長 1名 | (8) 監査委員 2名 |
| (9) 自治連役員 (執行部兼務) | |

2 前項 (5) の執行委員 (2名) は、さらに若干名を加えることができる。

3 必要に応じて、卒業生で要請を受諾した者に対し、生徒会アドバイザーに委嘱することができる。

第7条 第6条に規定する役員および本部委員は、代議員会において承認決定する。

第8条 第6条に規定する役員の任期は、3月から翌年の2月までの1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 年度の途中で役員の変更があった場合は、後任者の任期は、前任者の任期期間とする。

3 後任者の決定するまでは、1年をこえて在任することができる。

第四章 代 議 員 会

- 第9条 代議員は、新年度の会員の員数によって地区ごとに選出する。
- 2 前項による代議員の数は、会員が20名までは1名とし、50名までは2名とし、会員が50人ごとに1名を加えるものとする。
- 3 代議員の数は、1地区15名を上限とする。
- 第10条 代議員会は、代議員をもって構成し、本会の最高議決機関とする。
- 2 代議員会は、毎年4月に議長が招集するものとする。
- 3 代議員の過半数が必要と認めたとき、本部委員会が必要と認めたとき、もしくは、地区委員長の3分の1以上の要求があった場合は、臨時に代議員会を開くことができる。
- 第11条 代議員会は、次の事項を協議、決定する。
- (1) 会則の制定および改正
- (2) 予算の決定および決算の承認
- (3) その他、本会の運営に関する重要事項
- 第12条 議長は、代議員会を招集・司会し、副議長は、議長不在の場合にその任務を代行し、書記は、会議録の作成および保管にあたる。
- 第13条 本会の会員は、代議員会に出席し、意見を述べることができる。ただし、議決には参加することができない。
- 第14条 生徒会執行部は、代議員会に出席して審議に参加しなければならない。ただし、議決には参加することができない。

第五章 本部委員会

- 第15条 本部委員会は、執行部と地区役員をもって構成する。
- 第16条 本部委員会は、次の事項を行う。
- (1) 代議員会の決議事項の執行
- (2) 代議員会の審議事項の提案
- (3) 部編成および部相互の連絡調整
- (4) その他、生徒会の活動に必要な事項
- (5) 代議員会後に議決が必要な事項が生じた場合、代議員会に代わり議決することができる。
- ただし、次の代議員会で承認を受けるものとする
- 第17条 本部委員会は、前期1回以上、後期1回以上開く。地区委員長の3分の1以上の要求があった場合、もしくは執行部会が必要と認めたときは、臨時に本部委員会を開くことができる。

第六章 執 行 部 会

- 第18条 執行部会は、執行部(第6条 1 (1)～(5))で構成する。
- ただし、必要に応じて正副議長も加えることができる。
- 第19条 執行部会は、次の事項を行う。
- (1) 代議員会の決議事項の執行
- (2) 本部委員会の審議事項についての企画、立案
- (3) 生徒会の活動に必要な事項についての企画、立案
- (4) 自治連に関する事項についての企画、立案、執行
- 第20条 執行部会は、会長が必要と認める時に開くことができる。

第七章 部 活 動

- 第21条 本会には、部活動として文化部と体育部を置く。詳細については別に定める。

第八章 地区生徒会

第22条 学校が定める区分によって、地区生徒会を置く。

第23条 地区生徒会は、所属地区会員全員で構成し、必要に応じて地区委員長がこれを招集し、司会する。

第24条 地区生徒会において、次の事項を審議、決定する。

- (1) 地区役員の選出
- (2) 代議員の選出
- (3) 生徒会および地区生徒会の活動に必要な事項

第25条 地区生徒会は、地区ごとに地区委員長(本部委員を兼ねる。)・副委員長・書記・会計を置く。ただし、地区の実情に応じてこれ以外の役員を置くことができる。

2 地区委員長は、地区の代表として、地区の運営に必要な業務を行う。

3 生徒会長は、年度の必要に応じて卒業生で要請を受諾した者に対し、地区生徒会アドバイザーに委嘱することができる。

第九章 監査委員会

第26条 監査委員会は、監査委員で構成し、本会の予算の執行を監査し、代議員会に監査報告を行う。

第十章 会 計

第27条 本会の経費は、会員の納入する会費と寄付金等をもって、これに当てる。

第28条 会費は、以下のとおりとする。

前期入学生・在校生は年額3,100円

後期入学生は1,550円

第29条 本会の会員は、毎年、受講登録に際して前条の会費を納入しなければならない。

第30条 会員が会費の納入を怠った場合は、会員の権利を停止することができる。

第31条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第十一章 慶 弔 費

第32条 職員および生徒が死亡した場合、5,000円を支出することができる。

第十二章 選挙管理委員会

第33条 選挙管理委員会は、次年度の本部執行部役員の選出に必要な業務を行う。委員会は、現執行部役員を含め、6名程度で構成する。

附 則

この会則は、平成12年4月1日から適用する。

(一部改正) 平成20年4月1日から適用する。

(一部改正) 平成21年4月1日から適用する。

(一部改正) 平成25年4月1日から適用する。

(一部改正) 平成26年4月1日から適用する。

§ 12 HP・ブログ・学校安心メールでの緊急情報・自然災害（台風・大雪・洪水）等の連絡方法

開陽高校通信制では、学校紹介その他の情報発信のため、ホームページとブログを開設しています。ホームページでは、学校紹介や入学希望者に向けて募集要項・資料請求、学校からのお知らせなどを、ブログではスクーリング日程、レポート提出期限、行事報告などを掲載していますので、是非ご活用ください（ホームページからもブログにアクセスできます。）。また、学校安心メールを登録されますと、外出先からでも学校からの緊急連絡を受け取ることができます。

<通信制HP> <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kaiyo/tsushin/>

通信制ブログにアクセスできます。

本校事務室の情報や手続きの方法が紹介されています。

本校の自学自習支援サイトへアクセスできます。（調整中）

緊急連絡がある時は、こちらのバナーから該当記事画面を確認できます。

イベントカレンダーで、行事予定を確認することができます。

The screenshot shows the '鹿児島県立開陽高等学校 通信制' website. It has a top navigation bar with links like 'トップページ', '学校案内', '入学案内', etc. Below is a large banner for '通信制課程'. To the right is a '最新情報' (Latest Information) section with a list of dates and events. At the bottom is a '12月' (December) calendar. Arrows from the text boxes on the left point to specific elements on the website: '通信制ブログ' points to the '開陽通信ブログ' link; '本校事務室の情報や手続きの方法' points to the '入学案内' link; '本校の自学自習支援サイト' points to the '自学自習支援サイト' link; '緊急連絡' points to the '生徒緊急連絡' link; and 'イベントカレンダー' points to the '12月' calendar.



HPQR コード

<通信制ブログ> <http://kaiyo-tsushin.edu.pref.kagoshima.jp/>

学校行事報告や更新内容が掲載されます。

緊急連絡がある時は、HP同様、ブログにも記事が表示されます。

The screenshot shows the '鹿児島県立開陽高等学校 (通信制)' blog. It features a post titled '門松が完成!!' (Kadomatsu is complete!!) with a date of '2018年12月19日 (水)'. The post includes text and photos of students making kadomatsu. On the right side, there is a 'カテゴリ' (Category) list and a 'アーカイブ' (Archive) list showing dates from 2018年12月 back to 2016年12月. Arrows from the text boxes on the left point to the blog post content and the archive list.

在校生向けに、レポートの提出期限やスクーリング日程を掲載しています。協力校スクーリング日の変更も確認できます。



ブログ QR コード

各学期(前期・後期)『学校安心メールの登録・変更』のお知らせを配付いたします。

「学校安心メール」登録のお願いについて

開陽高校通信制課程では、「学校安心メール」を活用し、台風や大雪、感染症等に伴うスクーリングや試験の中止等の緊急連絡を行っております。外出先でも、学校からの緊急連絡や情報を受け取ることができます。つきましては、生徒・保護者の皆様は、裏面の「登録のしかた」に従い、登録をお願いします。

なお、すでに登録している在校生(保護者の皆様も含む)も、新しいクラスでの再登録(更新)が必要です。昨年度の登録内容はすべて3月末で消去されるため、**再登録(更新)を行わない場合、本校からの連絡が届かなくなりますのでご注意ください。**下段の手順で登録変更をお願いいたします。

記

(運用方法・注意事項等)

- 1 登録は無料です。ただし、メール受信には通常のメール受信料がかかります。
- 2 生徒の皆様は、クラスと地区も必ず登録してください。地区限定の緊急連絡もあります。
- 3 保護者の皆様は、生徒名とクラス、そして地区まで登録してください。
- 4 登録された個人情報を、配信以外に使用することはありません。
- 5 メールアドレスを変更された場合は、再登録してください。
- 6 **新年度に年度更新を行わないとメール受信はできません。**
- 7 緊急連絡は、学校HPや公式ブログにも掲載します。



学校安心メール(イメージ)

試験の中止のお知らせ

台風○号の直撃のおそれがあるため、本日(○月○日)のスクーリングは本校・協力校とも全て中止とします。その分の措置については、改めて連絡します。

○○地区の皆さんへ

大雪の影響で、明日(○月○日)の○○地区のA日程試験は中止とします。その分の措置については、改めて連絡します。

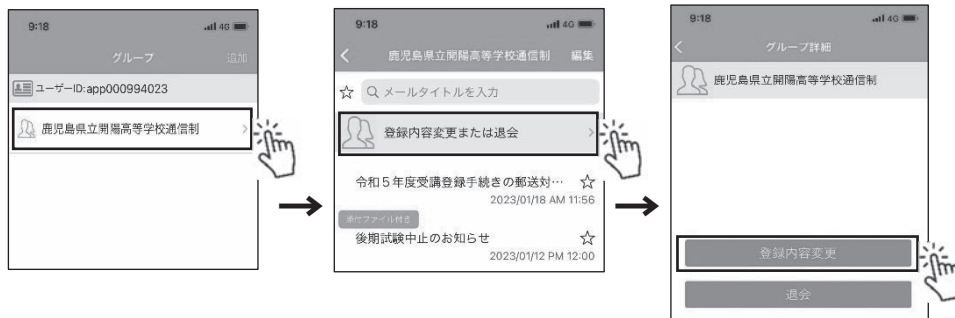
(登録変更)

【メールアドレスでご登録の方】

メールの下部の【◎運営のしくみ、登録内容変更・配信停止・退会の方はこちら】を押して表示される画面に従い、現在の正しい【クラス】【地区】、保護者の方は【生徒名】までの登録変更をお願いいたします。

【あんしんメールアプリでご登録の方】

あんしんメールアプリでご登録されている方は、【鹿児島県立開陽高等学校通信制】を押して、画面上部の【登録内容変更または退会】より【登録内容変更】で現在の正しい内容で登録変更をお願いいたします。



(その他)

「登録」「登録変更」がスムーズに出来ない場合は(株)テクノミックス フリーコール 0800-600-1230 にお尋ねください。

開陽高校通信制課程安心メール 登録のしかた

◆「あんしんメール」ご登録方法は、アプリまたはメールアドレスのどちらでも登録できます◆



「あんしんメール」アプリでの登録

- ① 「あんしんメールアプリ」をインストール（無料）
- ② 「あんしんメールアプリ」を起動し、「新規登録」をクリック
- ③ グループ画面の「追加（画面右上）」をクリック
- ④ 下記の登録用メールアドレスのQRコードの読み取りまたはメールアドレスを直接入力し、「グループに登録」をクリック
- ⑤ 必要事項入力後「登録」をクリックし、グループ画面に登録した学校名が表示されると登録完了

1 【iPhone版】



【Android版】



QRコード



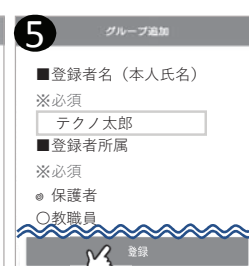
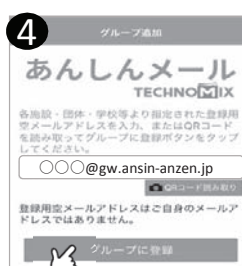
「開陽高校通信制課程安心メール」登録用メールアドレス

※ アプリインストールによる個人情報の収集等は一切ありません

kaitu@ansin-anzen.jp

← 直接入力の場合
必ず半角英数字入力

- ① 右上記のQRコードでアプリがインストールできない場合
【iPhone版】
… 「App Store」
【Android版】
… 「Playストア」
から「あんしんメール」を
検索ください



メールアドレスでの登録

- ① 下記の登録用メールアドレス（QRコードまたは直接入力）へ空メールを送信

QRコード



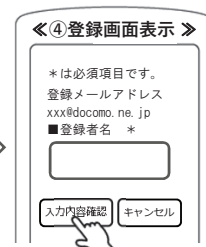
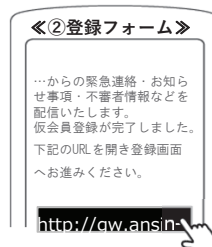
「開陽高校通信制課程安心メール」登録用メールアドレス

※ スマートフォンで空メールを送信する際は、件名に任意の一文（「あ」等）を入れて送信して下さい

kaitu@ansin-anzen.jp

← 直接入力の場合
必ず半角英数字入力

- ② 返信メール本文に記載のURLをクリック
- ③ 「本登録画面へ」をクリック
- ④ 表示された登録画面の項目を入力
- ⑤ 「入力内容確認」をクリック
- ⑥ 登録内容を確認し、「登録」をクリック
- ⑦ 「登録完了」画面が表示されると登録完了



【ドメイン指定受信設定】



【ご注意】空メールを送っても返信が来ない場合

ドメイン（anzen.jp）指定受信の設定をお願いします
※メールアドレス指定ではありません
※ 設定ができない場合、この用紙をお持ちになり
各携帯電話ショップにて設定をお願いして下さい

● 株式会社テクノミックス (http://tmix.co.jp/) ●

登録方法のお問い合わせは、
①学校名 ②お名前 ③電話番号
④お問い合わせ内容 をご記入の上、
株式会社テクノミックス qa@tmix.co.jp まで
メールにてお問い合わせください。

スクーリング参加・学習活動等の記録

1 スクーリング・学校行事等への参加の記録

[illegible]

※ その都度記録し、スクーリング等への参加の計画化と学習活動の日常化に努める。

2 時間割計画表

☆自分の時間割を作しましょう！

(1) 時間割は、本校の場合「開陽通信」に掲載・地区の場合「各地区毎」に配布されます。

(2) 「§ 4 行事計画」でスクーリング種類、曜日と回数を確認

種類：日曜・月曜・水曜S（本校），地区S（全協力校），島しょ地区S（島しょ地区協力校）

(3) 面接科目（例：物理基礎や音楽Ⅰなど）と教室名（例：201教室や化学室など）を書いておくと便利です。

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

☆自分の時間割を作しましょう！

(1) 時間割は、本校の場合「開陽通信」に掲載・地区の場合「各地区毎」に配布されます。

(2) 「§ 4 行事計画」でスクーリング種類、曜日と回数を確認

種類：日曜・月曜・水曜S（本校），地区S（全協力校），島しょ地区S（島しょ地区協力校）

(3) 面接科目（例：物理基礎や音楽Ⅰなど）と教室名（例：201 教室や化学室など）を書いておくとう便利です。

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

日 時限	月 日 ()
1・2	
3・4	
5・6	

事務関係の手続き

(各種届・願・証明書等の交付)

下記申込一覧表を参照のうえ、本書末尾に添付してある用紙（様式1～6）を用いて、速やかに手続きをしてください。証明書等は、申請してもすぐには交付できないので、余裕をもって申請してください。特に調査書・推薦書は1～2週間かかりますので、注意してください。

◆申請は全て各担任宛です。できれば担任と内容等を事前に確認することをお勧めします！

◆黒のボールペン又は万年筆で記入してください（鉛筆不可）。

事 象 (種 類)		申 込 方 法		提出期限
		提 出 書 類 等	郵送希望の場合	
証明	・進学・勤め先等へ提出する。 在学証明書・単位修得見込証明書 卒業見込証明書・調査書・推薦書 成績証明書・卒業証明書 単位修得証明書	証明書交付申請書 ^{注1} (様式1)	返信用封筒 (宛名明記， 切手を貼付)	
変更	・住所や氏名を変更した。	住所・氏名変更届 (様式2)		
割引	・JR・船舶等の割引回数券を購入する。	学生割引証交付願 (様式3)	返信用封筒 (宛名明記84 円切手を貼付)	
学籍 異動	・病気等で長期間、学校を休む。	休学願 (様式4)		
	・休学中の生徒が復学する。	復学願 (様式4)		
	・事情があって、退学する。	退学願 (様式4)		
	・他の学校へ転学をする。	転学願 (様式4)		
	・本校の全日・定時制へ転籍をする。	転籍願 ^{注2} (様式4)		
	・留学をする。	留学願 ^{注3}		
	・普通科(衛生看護科)へ転科をする。	転科願 ^{注4} (様式4)		
試験	・登録地区以外で試験を受ける。	登録地区外受験申請書 (様式5)		(前期) 8月3日 (後期) 1月5日
単位 増加	・高認(大検)合格の単位認定をする。	「高認(大検)合格科目」 単位認定願 ^{注3}		(前期) 8月末日 (後期) 1月末日
	・技能審査合格の単位認定をする。	「技能審査の成果」 単位認定願 ^{注3}		(前期) 8月末日 (後期) 1月末日
集会	・生徒会等でキャンプを行う。	集会届 ^{注3}		
部活	・部活動への入部をする。	入部届(個人登録) ^{注5} (様式6)		(前期) 5月末日 (後期) 10月末日

注1 卒業後は、証明書1通につき手数料が400円必要です。郵送希望の場合は返信用封筒に宛名明記，切手貼付のうえ，定額小為替（何も記入しないこと。）で必要枚数分申し込んでください。返信用切手代については右表で確認してください。なお，証明書の枚数によっては切手代が変わることがあります。事務室に問い合わせてください。(099-263-3733)

注2 前期（4月）・後期（10月）の2回，転籍可能。

詳細は担任と確認してください。

注3 担任へ連絡し用紙をもらってください。

注4 技能連携校を退学すると，転科手続きが必要です。

退学は衛生看護科→普通科へ

注5 年度更新のため，毎年提出します。

返信用切手代		封筒
在学証明書	84円	定形
その他の証明書	120円	定形外(角2)

No. _____

証明書交付申請書

通信制

氏 名		生年月日	年	月	日生
学籍番号		HR 番号		担任名	
年	月	卒業 退学 卒業見込	現 住 所	〒	TEL (— —)

種 類	必要枚数	種 類	必要枚数	種 類	必要枚数
在 学 証 明 書		調 査 書		卒 業 証 明 書	
単位修得見込証明書		推 薦 書		単 位 修 得 証 明 書	
卒 業 見 込 証 明 書		成 績 証 明 書			

交付申請の理由	
証明書の提出先	

(注意) 郵送希望の場合は、返信用の封筒及び本人確認ができるもの（生徒証明書・運転免許証・健康保険証の写し）を同封してください。返信用封筒には宛名を明記し、切手を貼付すること。

※学校処理欄

確認	生徒証明書・運転免許証・健康保険証・その他 ()
番号	

返信用切手代		封筒
在学証明書	84円	定形
その他の証明書	120円	定形外(角2)

----- キリトリ線 -----

No. _____

証明書交付申請書

通信制

氏 名		生年月日	年	月	日生
学籍番号		HR 番号		担任名	
年	月	卒業 退学 卒業見込	現 住 所	〒	TEL (— —)

種 類	必要枚数	種 類	必要枚数	種 類	必要枚数
在 学 証 明 書		調 査 書		卒 業 証 明 書	
単位修得見込証明書		推 薦 書		単 位 修 得 証 明 書	
卒 業 見 込 証 明 書		成 績 証 明 書			

交付申請の理由	
証明書の提出先	

(注意) 郵送希望の場合は、返信用の封筒及び本人確認ができるもの（生徒証明書・運転免許証・健康保険証の写し）を同封してください。返信用封筒には宛名を明記し、切手を貼付すること。

※学校処理欄

確認	生徒証明書・運転免許証・健康保険証・その他 ()
番号	

返信用切手代		封筒
在学証明書	84円	定形
その他の証明書	120円	定形外(角2)

住 所 ・ 氏 名 変 更 届

鹿児島県立開陽高等学校長 殿

次の通り住所・氏名の変更がありますのでお届けいたします。

令和 年 月 日

ホームルーム名 _____ 担任名 _____ 学籍番号 _____

氏 名 _____ 生年月日 _____ 年 月 日

○住所変更日 令和 年 月 日

新 住 所	〒 _____ 電話番号(_____)
旧 住 所	〒 _____ 電話番号(_____)

○氏名変更日 令和 年 月 日

フリガナ		フリガナ	
新 氏 名		旧 氏 名	

(注意) 担任へ提出すること。

----- キリトリ線 -----

住 所 ・ 氏 名 変 更 届

鹿児島県立開陽高等学校長 殿

次の通り住所・氏名の変更がありますのでお届けいたします。

令和 年 月 日

ホームルーム名 _____ 担任名 _____ 学籍番号 _____

氏 名 _____ 生年月日 _____ 年 月 日

○住所変更日 令和 年 月 日

新 住 所	〒 _____ 電話番号(_____)
旧 住 所	〒 _____ 電話番号(_____)

○氏名変更日 令和 年 月 日

フリガナ		フリガナ	
新 氏 名		旧 氏 名	

(注意) 担任へ提出すること。

(様式 3)

No. _____

学 生 割 引 証 交 付 願

鹿児島県立開陽高等学校長 殿
学生割引証を交付くださるようお願いします。

乗 車 船 区 間	駅から 駅まで(経由)				
種 類	回数券割引証 普通割引証 ※該当のものを○で囲みます。				
H R 番 号	担 任 名		学籍番号		
氏 名				年 齢	歳
現 住 所	〒 電話番号(- -)				
保 護 者 氏 名	※生徒が未成年の場合は記入します。				
使 用 目 的	スクーリング 学校行事 その他() ※該当のものを○で囲みます。				
利 用 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日				

(注意) 郵送希望の場合は、返信用の封筒及び本人確認ができるもの(生徒証明書・運転免許証・健康保険証の写し)を同封してください。返信用封筒には宛名を明記し、切手を貼付すること。

※学校処理欄

確認	生徒証明書・運転免許証・健康保険証・その他()
番号	

----- キリトリ線 -----

No. _____

学 生 割 引 証 交 付 願

鹿児島県立開陽高等学校長 殿
学生割引証を交付くださるようお願いします。

乗 車 船 区 間	駅から 駅まで(経由)				
種 類	回数券割引証 普通割引証 ※該当のものを○で囲みます。				
H R 番 号	担 任 名		学籍番号		
氏 名				年 齢	歳
現 住 所	〒 電話番号(- -)				
保 護 者 氏 名	※生徒が未成年の場合は記入します。				
使 用 目 的	スクーリング 学校行事 その他() ※該当のものを○で囲みます。				
利 用 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日				

(注意) 郵送希望の場合は、返信用の封筒及び本人確認ができるもの(生徒証明書・運転免許証・健康保険証の写し)を同封してください。返信用封筒には宛名を明記し、切手を貼付すること。

※学校処理欄

確認	生徒証明書・運転免許証・健康保険証・その他()
番号	

				受 付
校 長	教 頭	事 務 長	回 議	

令和 年 月 日

鹿児島県立開陽高等学校長 殿

通 信 制 普 通 科 HR 番号 _____
衛生看護科

学 籍 番 号 _____

本 人 氏 名 _____

保 護 者 氏 名 _____

保 証 人 氏 名 _____

転学(転籍)・退 学 願
休 学 ・ 復 学

次の理由により _____ したいので、許可くださるようお願いします。

1 理 由 _____

2 休学の期間 年 月 日から
年 月 日まで

3 転学・復学・退学希望年月日 _____ 年 月 日

4 転学先及び所在地
学校名（課程名） _____
所在地 _____

(担任副申) _____

担任氏名 _____

- 1 該当する事項を○で囲む。
- 2 転学（1． 3． 4） 休学（1． 2） 復学・退学（1． 3）のみ記入のこと。
- 3 病気の場合は医師の診断書を添えること。

(様式 5)

登録地区外受験申請書

都合により登録外の地区で受験を希望しますのでお届けいたします。

令和 年 月 日

HR 番号 担任名 学籍番号

氏名 電話番号

希望する受験地 登録している地区

該当試験 (前期 A ・ 前期 B ・ 前期追試験 ・ 後期 A ・ 後期 B ・ 後期追試験)

(該当の試験に○印を付ける)

受験地変更の理由

※「登録地区外受験申請書」は、前期試験 8 月 3 日までに、後期試験は 1 月 5 日までに学校(担任宛)に必着するように郵送すること。

----- キリトリ線 -----

登録地区外受験申請書

都合により登録外の地区で受験を希望しますのでお届けいたします。

令和 年 月 日

HR 番号 担任名 学籍番号

氏名 電話番号

希望する受験地 登録している地区

該当試験 (前期 A ・ 前期 B ・ 前期追試験 ・ 後期 A ・ 後期 B ・ 後期追試験)

(該当の試験に○印を付ける)

受験地変更の理由

※「登録地区外受験申請書」は、前期試験 8 月 3 日までに、後期試験は 1 月 5 日までに学校(担任宛)に必着するように郵送すること。

入部届 (個人登録)

鹿児島県立開陽高等学校長 殿

令和 年 月 日

以下のとおり入部を申請します。

部活動名				
HR 番号		学籍番号		
フリガナ		性 別	生年月日	年 齢
氏 名		男・女	年 月 日	
現住所	〒 □ □ □ - □ □ □ □			電話番号
				() —
フリガナ		電話番号	健康診断書	提出・未提出
保護者氏名		() —		

※ 20 歳未満の場合，保護者欄の署名が必要です。
※ 健康診断書は，提出の有無を○で囲んでください。

生徒会 受付年月日	令和 年 月 日		
係	担 任	顧 問	保健指導

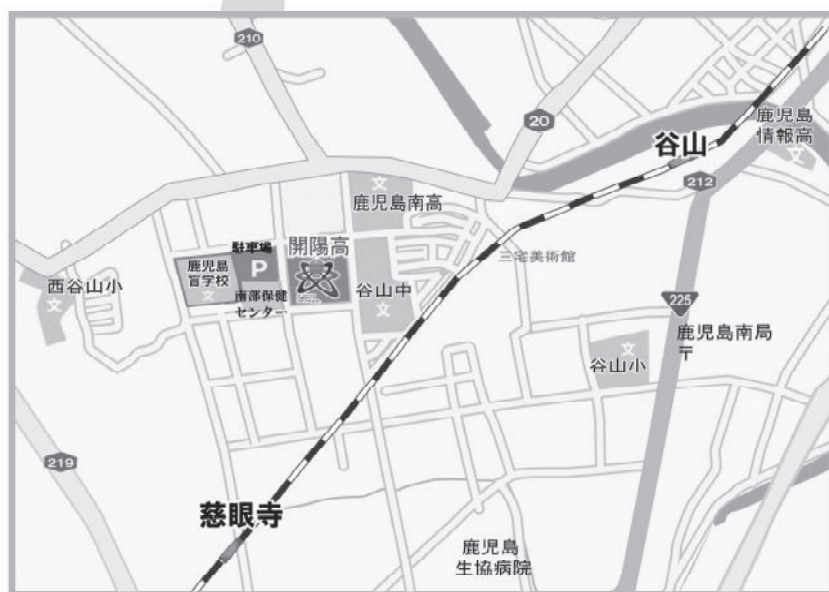
※手続き完了後，係が担任・顧問に複写を提出します。

交通アクセス

1 利用交通機関

【鹿児島交通バス】	「南高校前」バス停下車	徒歩 5 分
	「谷山駅前」バス停下車	徒歩 20 分
【市営バス】	「谷山駅前」バス停下車	徒歩 20 分
【ＪＲ指宿枕崎線】	「谷 山」駅下車	徒歩 15 分
	「慈 眼 寺」駅下車	徒歩 15 分
【市電】	「谷 山」電停下車	徒歩 25 分

2 学校周辺地図

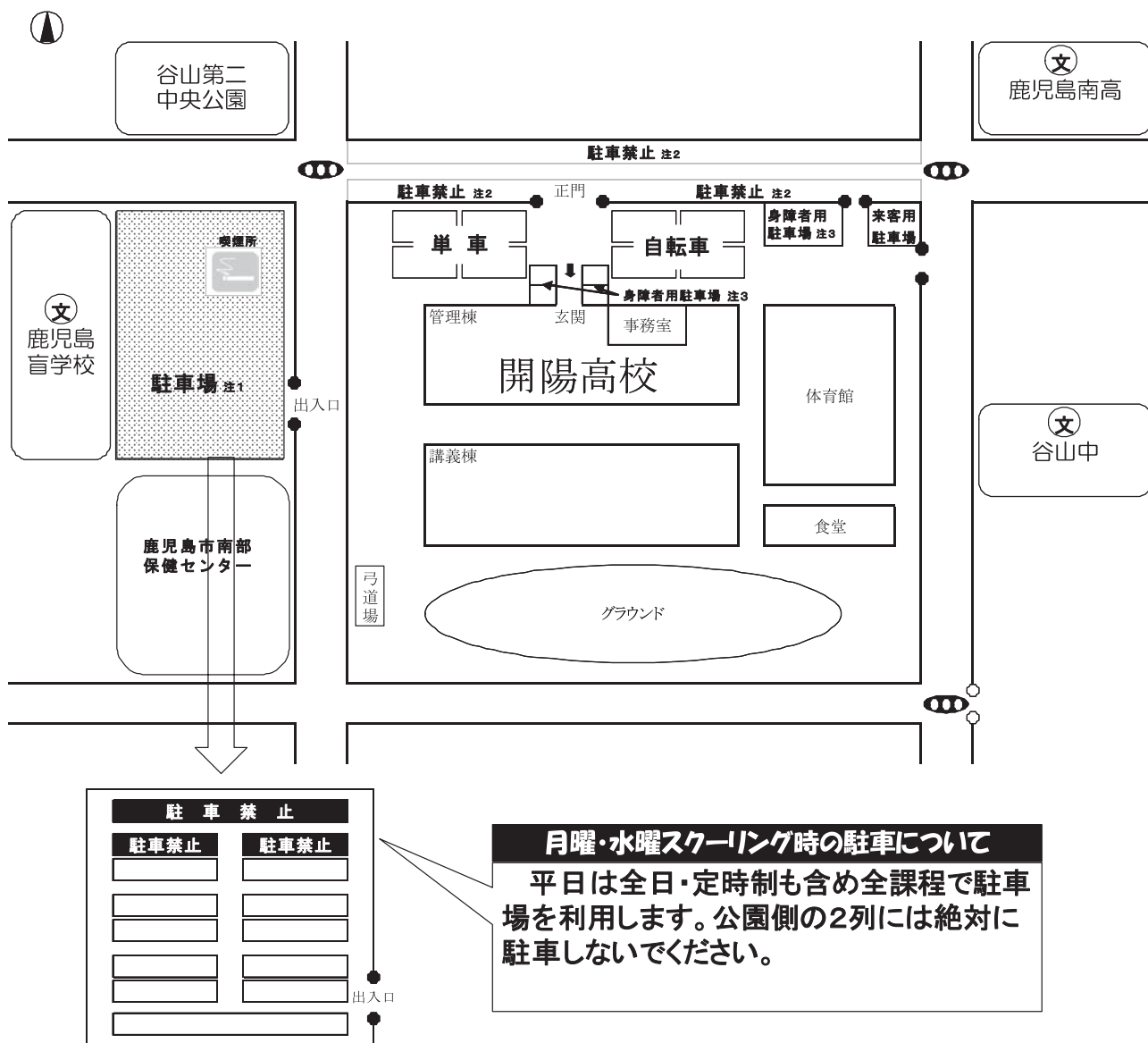


※本校駐車場は校舎より、少々離れています。
通行には十分、注意してください。

駐 車 場

行事やスクーリング等で本校へ登校する時は、下記のとおり駐車してください。特に平日の使用については駐車場所に注意してください。

また、各協力校では場所が異なります。必ず最初に登校した時に確認してください。

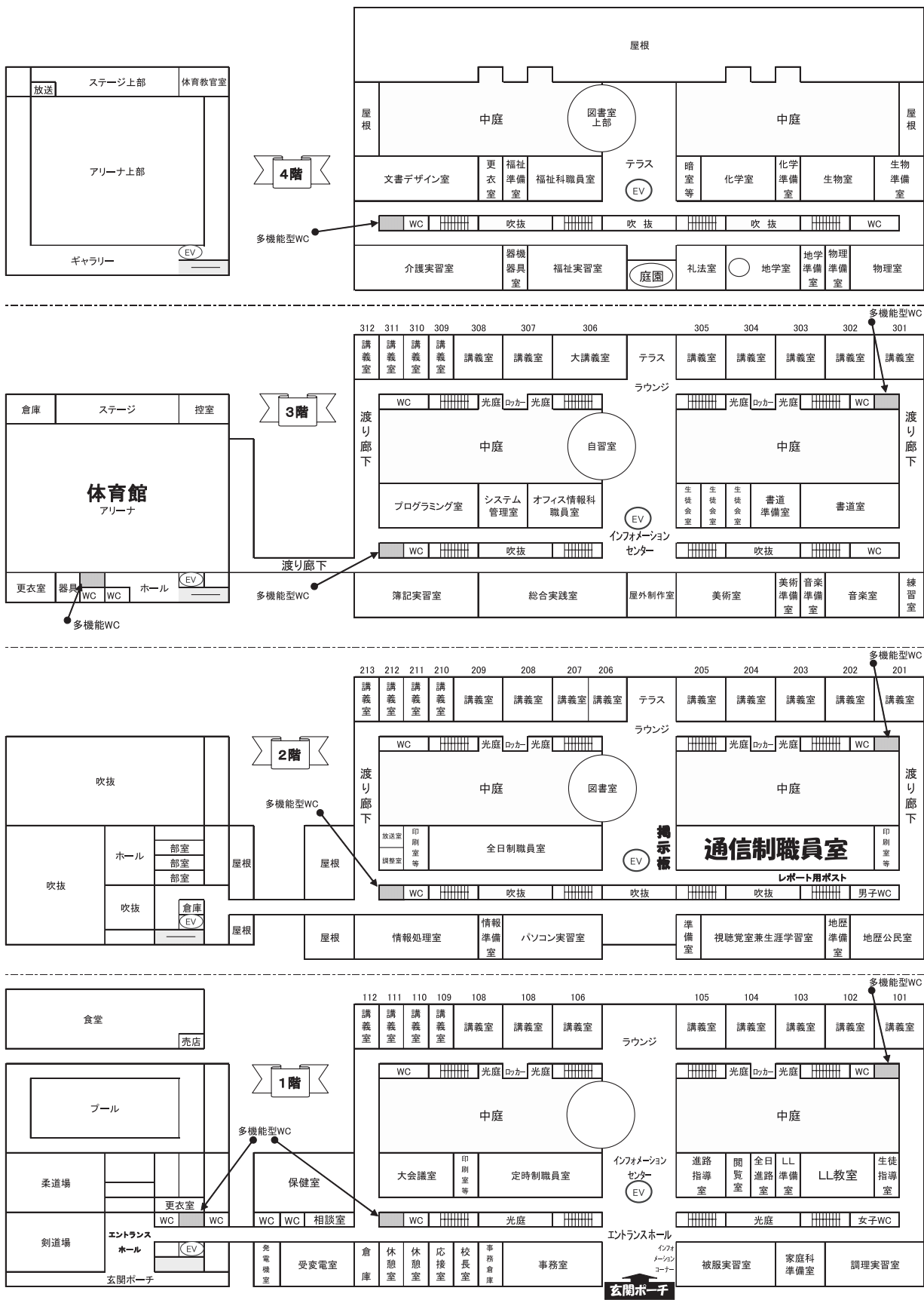


注1 駐車場は数に限りがありますので、できるだけ、徒歩・自転車又は公共の交通機関を利用してください。また、学校周辺の路上(特に正門前)や近隣の店舗等の駐車場には絶対に駐車しないでください。

注2 自家用車で送迎してもらう時も、学校周辺の路上や近隣の店舗の駐車場ではなく、必ず本校の駐車場で乗り降りしてください。

注3 車椅子等を使用の方は、玄関前に駐車スペースがありますので、事前に申し出てください。(申請が必要です。)

校舎配置図





HR番号		学籍番号	
		氏 名	